

タ此三大部ノ各部ヲ幾千カニ小別シテ各々看護婦監督ヲ置キテ其受持區ノ責任ヲ有セシム、而シテ新タニ看護婦ノ來リタル場合ニハ其就職ノ第一日ニ於テ看護婦監督ナルモノ之ヲ案内シテ其受持區内ヲ巡回セシメシコトヲ要ス、而シテ此監督ハ日々其受持區内ヲ巡回シテ看護婦カ患者及其家族ニ對シテ適當ノ訓諭ヲ與ヘ且ツ其任務ヲ盡シ居ルヤ否ヤヲ視察センコトヲ要ス

毎月一回本部ニ於テ看護婦總會ヲ開キテ重要事件ニ關シ討論研究ヲ爲サンコトヲ要ス

看護婦呼迎ノ事 何レノ所ヨリ呼迎ニ來ルトモ之ニ應センコトヲ要ス、看護婦カ患者ノ家ニ行キテ尙ホ未タ醫師ノ診察ヲ受ケ居ラサルコトヲ見出シタランニハ、其家族ノモノニ對シテ早ク醫師ヲ呼ヒ迎ヘラレヨト注意センコトヲ要ス、若シ然カスルコト能ハサル場合アランカ、斯ル場合ニ於テハ看護婦ノ職責トシテ私立開業醫カ若クハ公醫カヲ呼ヒ迎ヘテ診察セシムヘク、或ハ患者ノ容體如何ニ依リテ病院若クハ施療所ヘ送付センコトヲ要ス

日マノ報告 各看護婦ハ自カラ成シタル作業如何ヲ日々其本部ニ報告センコトヲ要ス、是レ獨リ看護事業沿革史ノ上ニ就テ大ナル價值アルノミナラス、看護婦ノ日々成シタル作業如何ヲ品評論議スルノ好材料タルノ益アルモノト謂ツヘキナリ

病床日誌ノ事 凡ソ看護婦ノ患者看護ニ從事スルヤ必ラス病床日誌ナルモノヲ調製シ置カサルヘカラス、是レ主トシテ醫師ノ參考トナルヘキモノニシテ常ニ患者ノ側ニ置キ、時ニ或ハ醫師ノ指圖ニ從ツテ一日ニ

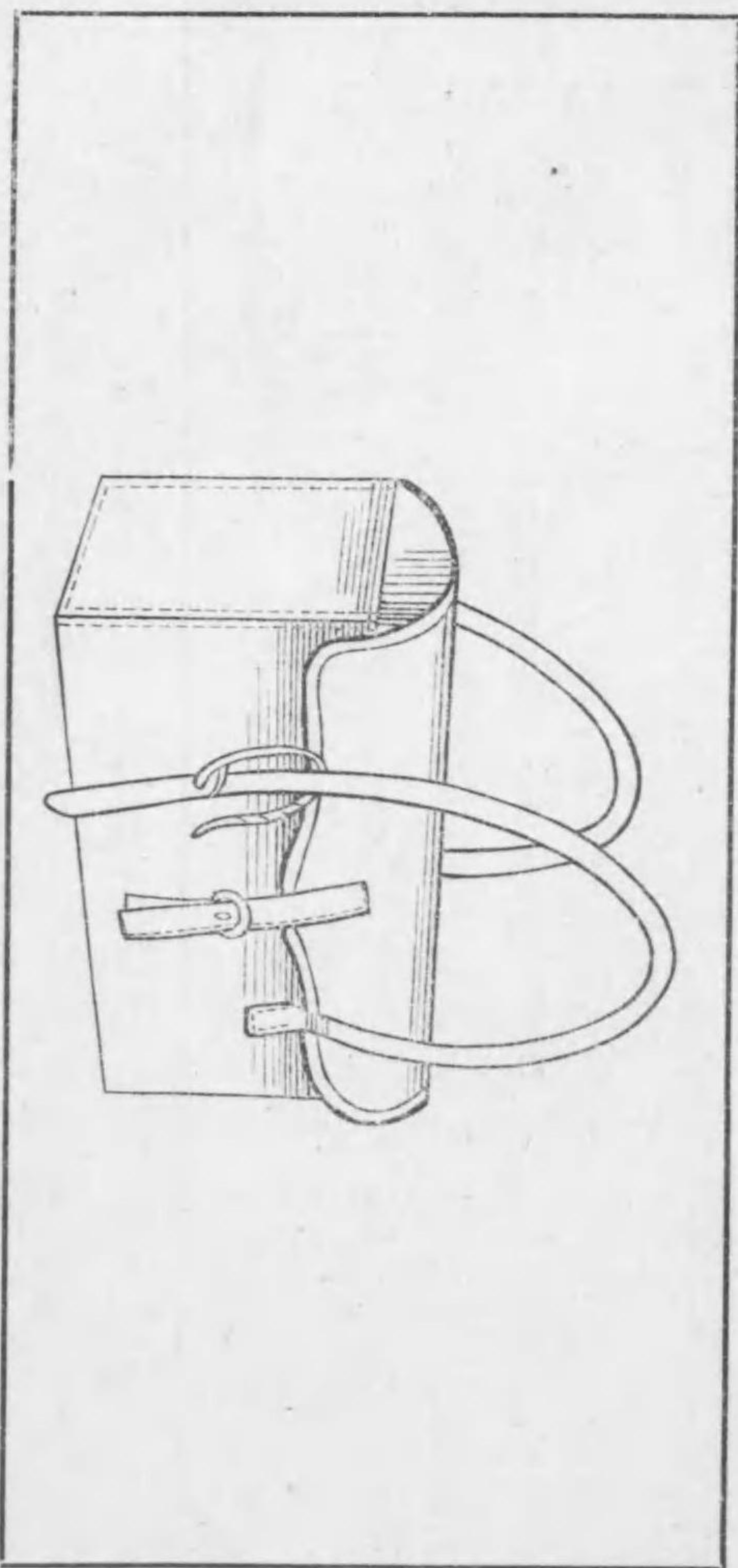
一回若クハ二回醫局ヘ送致スルコトアルヘシ、而シテ疾病全癒スルカ其他不必要トナリタル場合ニ於テハ看護婦本部ニ送り届ケンコトヲ要ス、  
患者「カード」如何ナル患者ニテモ皆ナ是レ患者「カード」ナルモノヲ作成シテ之ヲ各看護區本部ニ備ヘ置カンコトヲ要ス、但シ之ヲ備ヘ置カンニハ之カ目錄中ニ一括シテ閱覽ニ便ナラシメンコトヲ要ス、今マ此等諸表ノ様式ヲ左ニ掲ケン

看護婦本部		姓名		看護婦	
住	所	姓	名	受持區	域
時	間	回	數	.....	.....
日		報		.....	
一千九百...年		ル成シタル		回日ノ巡	

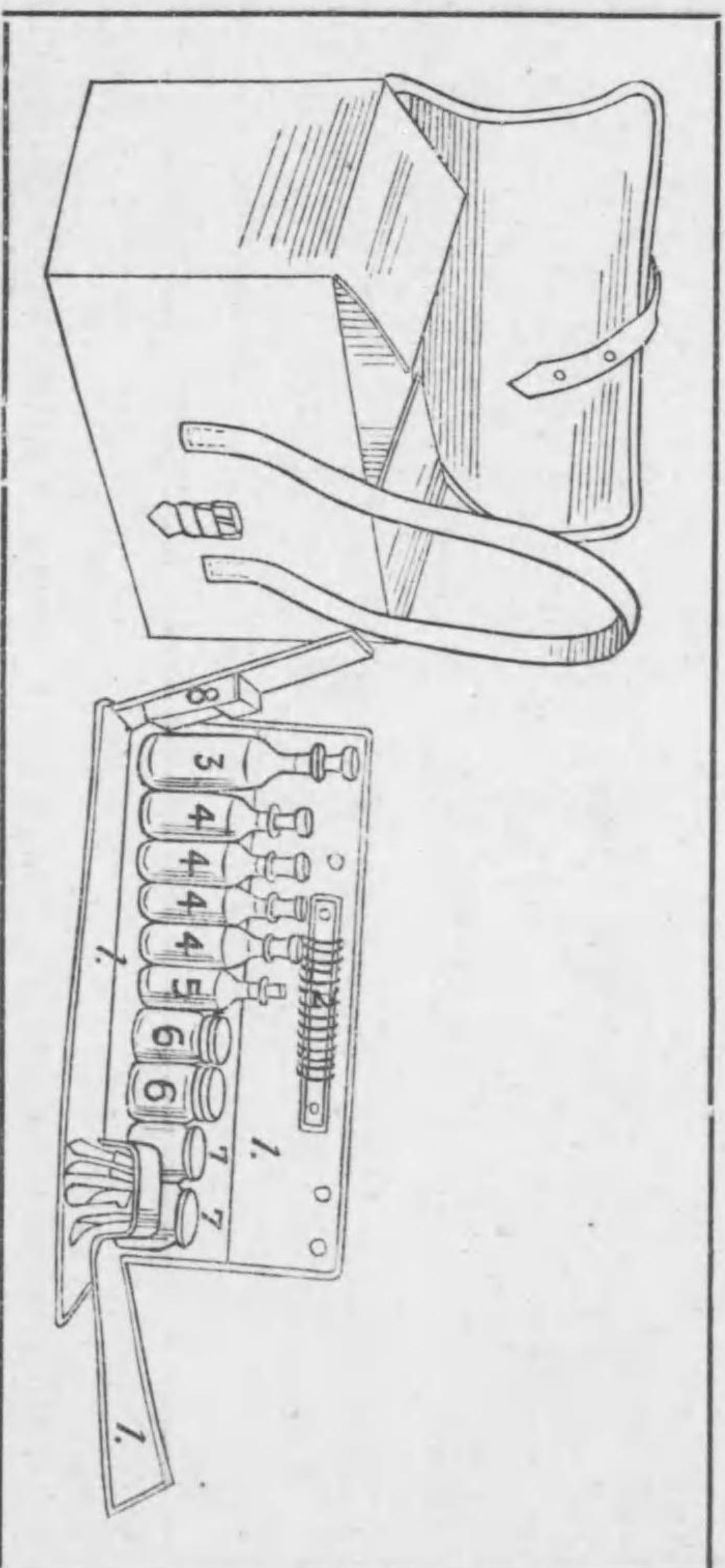
病 床 日 誌						姓 名 住 所 .....	醫 師 看 護 婦 .....
備 考	呼 吸	脈 搏	體 溫	時 間	月 日		

姓 名 .....	年 齡 .....
住 所 .....	
第一回ノ巡回日時.....	最後ノ巡回日時.....
診 斷 .....	
報 告 者 .....	職 業 .....
醫 師 .....	看 護 婦 .....

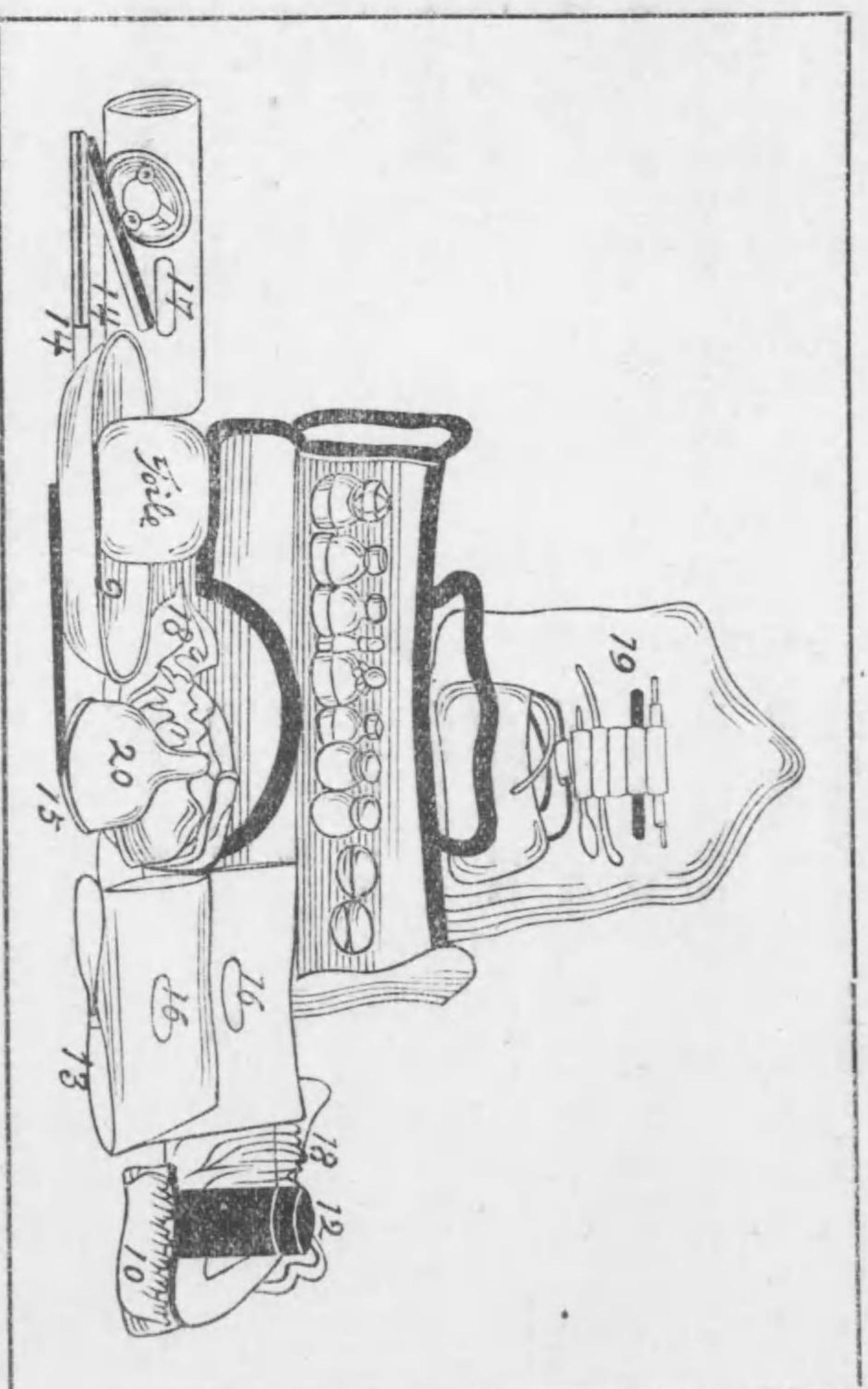
看護婦用ノ袋及其内容 今マ左ニ掲クル所ノ袋ノ圖ハ紐育ヘンリー街ノ看護婦本部ノ現ニ使用シ居ルモノ  
ニシテ、其他數多ノ看護婦協會モ亦タ之ヲ用ヒ居レリ  
此袋ハ革製ニシテ其裏面ニハ麻布ヲ用ヒ居レリ  
看護婦カ其腕ヲ差シ入レテ運ヒ行カンカ爲メニ長キ取手ヲ付シ、又其内部ニ塵埃及雨ナトノ侵入セサル様  
蓋被ヲ設ケ置ケリ



閉チタル袋



袋ヲ開キ内容ヲ外ニ移シタル圖



袋ヲ開キ内容ヲ示セル圖

此袋ノ内部ハ皆ナ麻布ヲ以テ蔽ハレ洗濯消毒等ヲ爲スニ便ナラシメンカ爲メニ、容易ク取り外シノ出来得ヘキ様爲シ置カンコトヲ要ス、其大サハ長サ十四吋幅六吋及高サ七吋半ナリト知ルヘシ

袋ノ内ニ入レルヘキモノ

- 麻布製ノ取替裏 一ツ分
- 麻布製ノ器械包 一個
- 麻布製縲帶用具ノ小包 一個
- 「ガーゼ」縲帶 三個
- 「モスリン」縲帶 三個
- 「ガーゼ」三「ヤード」
- 脱脂綿 三個
- 卷絆創膏 一個
- 傷口用ノ「ナブキン」 一個
- 手掛 一個
- 前掛 一個
- 爪「ブラッス」一個
- 鉛筆 一本
- 驗温器(口腔用) 一個
- 驗温器(腸用) 一個
- 滑石粉 一箱
- 病床日誌 一括
- 大封筒 四個
- 「ワゼリン」壺 一個
- 驗温器 三個
- 硝子注射器 一個
- 硝子製「カテーテル」 一個
- 硝子管ヲ裝置セル「ゴム」製カテーテル 一個
- 點滴罌 一個

安全針 一打

- 三「オンス」罌 一個
- 一「オンス」罌 五個
- 二「オンス」壺 三個

罌及壺ニ盛ルヘキモノハ左ノ如シ

罌

- 九五%ノ亞留格保留(大罌) 一個
- 綠石鹼酒精溶液 一個
- 「ホキスキー」 一個
- 空 罌 一個
- 九五%ノ石炭酸(綠罌) 一個
- 「カスカラ」錠(最小罌) 一個

罌 一個

- 一「オンス」壺 二個
- 硝子小罌 一個

壺

- 硼酸壺末 一個
- 「ワゼリン」 一個
- 一〇%ノ「イーテオル」軟膏 一個
- 硼酸軟膏 一個
- 室壺 一個

夜間勤務ノ事 凡ソ看護婦タルモノハ夜間ノ勤務ニ従事スヘキモノニアラス、但シ患者ノ容體如何ニ依リテ夜間ノ看護ヲ要スヘキ場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ看護婦ハ市ノ信託案内所ヨリノ申込ニ依リテ之ニ應スヘキモノトス、此信託案内所ニハ平生看護婦一覽表ナルモノ、備付アリテ他ノ依頼ニ應シテ此

等ノ看護婦ニ紹介スルコト、ナリ居レリ、即チ看護婦中借家住居ヲ爲セル下等社會ノ有様ニ善ク通シ、自カラ好シテ下等人民ノ患者ノ看護ヲ爲サント欲スル看護婦ノ一覽表カ、平生信託案内所ニ備付ケアリテ紹介ノ勞ヲ取ルモノ是レナリ、而シテ貧民患者ニシテ斯ク夜間ニ看護婦ヲ要スル場合ニハ、晝間ト均シク其資力ニ應シテ看護料ヲ支拂ハンコトヲ要ス、通常夜間ノ看護料ハ四弗ナルカ或ル信託案内所ト聯絡セル看護婦ハ之レヨリ一層少額ノ看護料ニ甘シテ之ニ應スルコトアリ、且ツ此等ノ看護料ハ患者ノ家庭如何ノ模様ニ從ツテ多少異ナル所ナクンハアラス、時ニ或ハ貧民患者ニシテ自カラ其看護料ノ全部ヲ支拂フコトアリ、或ハ其看護料ノ内幾分カラ支拂フコトアリ、斯クテ其看護料ノ拂殘ノ分ハ看護婦本部ノ資金中ヨリ支辨スルコト、ナリ居レリ、然レトモ專ハラ夜間ノ看護ノミニ從事スヘキ看護婦ノ一團體ヲ組織センコトハ實行シ得ヘカラサリシナリ、是レ他ナシ夜間ノ看護ヲ要スヘキ患者ハ何時幾人アルヤ不慥ニシテ知り得ヘカラサレハナリ、夜間ノ看護ヲ要スヘキ患者アル場合ニハ必ラス地方看護婦ノ紹介ニ依ラサルヘカラススル紹介ニ接シタル看護婦ハ果シテ夜間ノ看護ヲ要スヘキ疾病ナルヤ、患者自カラ看護料ヲ支出シ得ヘキヤ、患者ノ家族中看護ノ勞ニ服スヘキモノナキヤ等ヲ充分ニ見定メテ之ニ應センコトヲ要ス

○**産婦看護ノ事** 産婦ノ看護ニ從事スルモノハ決シテ他ノ看護ニ從事セス專ラ産婦ノ看護ノミニ從事スヘキモノトス、又タ産婦ニ要スヘキ繙帯ハ先ツ消毒センコトヲ要ス、産婦ノ繙帯ハ看護婦ノ來ラサル場合ト雖モ日々新タニ取替ヘサルヘカラス、此等ノ消毒ハ通常看護婦本部ニ於テ行フヘキモノトス、但シ看護婦ト

産科施設院ト聯絡シ居ル場合ニハ該施設院ニ於テ此消毒法ヲ行フヘキモノトス

○**看護料ノ事** 患者ヲ獎勵シテ看護料ヲ支拂ハシムルコト、ナシ、患者ノ方ニ於テモ然カナスヲ好メルモノ多キニ居レリ、醫師ノ方ニ於テモ患者自カラ看護料ヲ支拂ヒ得ヘキ場合ニ於テ、看護婦ヲ利用スルコトノ一層都合好キヲ感セサルハナシ、而シテ斯ク患者ヨリ收受シタル看護料ナルモノハ皆ナ是レ偶發事件所要資金ノ中ニ組ミ込マル、モノトシ、尙ホ其一部分ハ看護婦ノ勤務中ニ起レル臨時出來事ノ費用ニ充ツヘキモノトス

○**豫備物品貯藏所ノ事** 地方ノ各看護婦本部ニハ他ヘ供給シ及貸與スヘキ諸物品ヲ貯ヘ置ク箇所アルヘキナリ、今其物品ノ種類如何ト云フニ、醫藥、消毒用ノ物品、病室用ノ物品、寢具其他患者所用ノ物品等是レナリ、蓋シ此等ノ諸物品ハ多量ニ買ヒ込ミ置キテ、支部ヨリノ要求ニ應シテ夫々給與センコトヲ要ス

○**會計ノ事** 看護婦ノ給料ハ其全部ト其幾分トヲ問ハス通常一個人、一家庭中ノ或ル者、人民ノ團體其他協會等ヨリ支給セラル、モノトス

回復期患者收容所ノ費用ハ殆ント其全部ヲ個人若クハ一家庭中ノ或ルモノヨリ支給セラルヘキモノトス

患者ノ看護ニ關聯シテ要スル所ノ費用ハ定マリナキ有志家ノ寄附金若クハ患者ヨリ支拂フタル看護料ヨリ支拂ハンコトヲ要ス

○**救助ノ事** 患者ニ取リテ偶然起リタル事變ヨリ出費ヲ要スルモ無資力ニシテ如何トモスルコト能ハサル場

合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ之カ看護婦タランモノハ差シ當リ其急ヲ救ハンコトヲ要ス、又タ患者ニ對シテ滋養物等ヲ給與セント欲スル場合ニハ篤ト其利害ノアル所ヲ考ヘサルヘカラス、決シテ輕舉ニ出ツヘキモノニアラス、尙ホ其他ニ救助ヲ與フヘキコトアリタランニハ適當ナル慈善協會ヘ謀ランコトヲ要ス、若シ斯ル慈善協會ノ設立セラレタルモノ之レナキ場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ看護婦本部ニ於テ救助ノ方法ヲ取ランコトヲ要ス、看護婦本部カ斯ル通知ニ接シタラン場合ニハ成ルヘク速カニ事ヲ運ハサルヘカラス、今其救助ニ關スル事柄ノ重モナルモノヲ掲ケンカ、馬車、特別看護婦ヲ雇ヒ入ル、事、滋養品、目鏡、綳帶、義手若クハ義足、療養所ニ入ラントスルコト、藥品、寄宿料、衣服等ヲ要スルカ如キ是レナリ  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 雜仕女ヲ要スル事 巡回看護婦ハ必要ニ應シテ患者ノ爲メニ家屋内ノ掃除ヲ爲シ、或ハ洗濯等ヲ爲サシメ  
 ンカ爲メニ雜仕女ヲ使役スルコトヲ得ヘシ

患者治療ノ設備ハ種々様々ナルカ其内、外科小施術室ナルモノアリ、抑モ此小施術室ニハ夫々適當ノ看護婦アリテ外來患者ニ對シテ病症ニ應スヘキ手當ヲ施コスモノナリ、尙ホ之ヲ細言センカ、此等ノ患者ハ重症ノモノニアラス日々施術ヲ受ケンカ爲メニ自カラ步行シテ來リ得ヘキモノナリ、而シテ斯ル患者ノ外科小施術室ニ來ルニ就テハ醫師ヨリ爾カノノ施術アリ度旨其都度ノ此施術室ノ方ヘ通知アルヘク、看護婦ハ此通知ニ從ツテ夫々施術センコトヲ要ス、通常此等ノ患者ト云ヘルハ潰瘍、胸膿、火傷等ノ施術及灌腸、目藥點眼等ヲ要スルモノト知ルヘシ、此外科ニ施術室ノ設備ハ看護婦ノ巡回ニ比フレハ著シク其時間ヲ省

キ得ルノ利アルモノト謂ツヘキナリ

各看護婦ヨリヘンリー街ナル看護婦本部ヘ差シ出スヘキ月報ノ様式

一千九百...年...月ノ報告

看護婦...地方

- 患者數.....
- 看護婦巡回數.....
- 朋友ノ訪問數.....
- 病院ヘ送致數.....
- 治療所ヘ送致數.....
- 死亡數.....
- 他所ヘ移シタル數.....
- 尙ホ看護シツ、アル數.....
- 第一回ノ治療.....
- 患者ヨリ收受シタル金圓.....

費消シタル金圓.....

右ノ報告ハ看護婦團體へ金圓ヲ寄附セラレタル人々へ洩レナク送付センコトヲ要ス

特別資金支出ノ會計報告モ亦タ是レ此資金ヲ寄附セシ人々へ送付センコトヲ要ス

ヘンリー街ナル看護婦本部ノ事業成績年報ノ事

患者數.....

看護的訪問.....

親愛的及忠告的訪問.....

施術所.....

左記ノ數者ヨリノ報告

慈善團體ヨリ.....

家族及隣人ヨリ.....

醫師ヨリ.....

衛生局.....

處分シタル件

治療者.....

診斷

腫物.....

酒精中毒.....

火傷.....

腦膜炎.....

產科疾患.....

肺病.....

癩麻質斯.....

室扶斯.....

結核病.....

潰瘍.....

死亡者.....

退去(疾病ナキニ依リ).....

治療所.....

病院.....

特別看護(老練ナル看護婦以外ノ).....

特別看護婦.....

尙ホ治療中ニ屬スル者.....

合計

心臟病.....

傳染病.....

眼病.....

婦人病.....

分類シ難キ内科的疾患.....

同上外科的疾患.....

無病.....

合計

# 千九百十一年度佛國高等衛生會議事業報告

五八八

## 目次 (分ノミ抄譯)

- 第一 公共衛生ニ關スル千九百十二年二月十五日ノ法律ニ規定セル市町村ノ保健ニ關シ千九百十一年六月二十二日付全國ノ知事ニ對スル內務大臣ノ訓令
- 第二 公共衛生ニ關スル千九百十二年二月十五日ノ法律ニ基キ千九百十一年度ノ衛生費ニ關シ全國ノ知事ニ對スル千九百十一年十二月二十七日付內務大臣ノ訓令
- 第三 公共衛生ニ關スル千九百十二年二月十五日ノ法律ヲ海軍ニ適用スル件ニ關シ全國ノ鎮守府長官等ニ對スル千九百十一年十二月二十六日付海軍大臣ノ訓令
- 第四 公共衛生ニ關スル千九百十二年二月十五日ノ法律ヲ「マルチニツク、ガドループ」及ヒ「レユニヨン」ニ適用スヘキ件ニ關スル千九百十一年一月七日ノ大統領令
- 第五 佛國高等衛生會議ノ組織改正ニ關スル千九百十二年一月八日ノ大統領令
- 〔第六 海水浴場ノ衛生状態ニ關シテ全國ノ知事ニ對スル千九百十一年八月七日付內務大臣ノ訓令、橋梁隄防技監ニ對スル同年十月二十六日付郵電工部大臣ノ訓令、防疫官リビエール氏及ヒマイユ氏ノ報告書〕
- 第七 千八百九十七年十一月十二日ノ規則ヲ改正シテ衛生上有害若クハ危險ナル物件ノ鐵道輸送ニ關シ全國各鐵道管理者ニ對スル千九百十一年二月十五日付郵電工部大臣ノ訓令
- 第八 佛國東部沿海地方ノ保健ニ關スル千九百十一年十二月十五日ノ法律
- 第九 飲料水ノ引用工事ニ關スル千九百十一年七月十三日ノ財務法(抜抄)
- 第十 防疫ニ關シテ全國ノ知事ニ對スル千九百十一年六月十六日付內務大臣ノ訓令、同年同月十五日付內務大臣ノ電訓
- 第十一 果實及ヒ野菜ノ特別規定廢止ニ關スル千九百十一年七月十日ノ大統領令
- 第十二 烏賊類ノ輸送禁止ニ關スル千九百十一年九月十四日ノ大統領令
- 第十三 全國諸縣衛生課ノ月報及ヒ年報提出ニ關シ知事ニ對スル千九百十一年二月二十五日付內務大臣ノ訓令
- 第十四 獨佛防疫條約
- 〔第十五 船内驅鼠ニ關シ全國ノ沿海衛生區長ニ對スル千九百十二年四月十三日付內務大臣ノ訓令〕
- 第十六 千九百十五年八月一日ノ法律ニ基キ蜂蜜水、着色牛酪、亞硫酸混化白葡萄酒、「リモナード」ノ偽造禁止ニ關スル千九百十一年五月二日ノ大統領令
- 第十七 罐詰用器汚藥若クハ塗料ノ犯則ニ關シテ全國ノ各衛生試驗所長ニ對スル千九百八年六月十一日付農務大臣ノ訓令

五八九



第十八 「サツカリ」若クハ類似品ニ關スル千九百十年四月八日ノ財務法及ヒ千九百十一年四月十五日ノ大統領令

第十九 第二等藥劑師免狀授與ノ廢止ニ關スル千九百十一年十一月二十四日ノ大統領令

第二十 藥劑學校ノ組織ニ關スル共和第十一年三月二十一日ノ法律ヲ改正スル千九百八年六月二十五日ノ法律ヲ「アルデエリ」ニ適用スル千九百十一年十二月二十一日ノ大統領令

第二十一 藥品ノ偽造ニ關スル千九百十一年十二月二十一日ノ大統領令

第二十二 外國製血清及ヒ自餘治療品ノ製造販賣及ヒ分配ニ關シ千八百九十五年四月二十五日ノ法律ニ基

キテ許可スヘキ千九百十一年十二月二十二日ノ大統領令

《第二十三 鑛泉場ニ關シテ千九百十年四月十三日ノ法律ヲ適用スル千九百十一年六月二十六日ノ大統

統領令》

《第二十四 鑛泉場常置委員會ノ組織ニ關スル千九百十一年十一月九日ノ大統領令》

《第二十五 鑛泉噴出地ノ保護ニ關スル千八百五十九年五月三十一日ノ大統領令ヲ適用スル千九百十一年

一月二十六日ノ大統領令》

第二十六 罌粟實ヲ千八百五十年七月八日ノ命令附錄表列舉ノ毒物ト認ムル千九百十一年四月十四日ノ大

統領令

第二十七 火災ニ關スル千九百四年十一月二十九日ノ大統領令及ヒ千九百六年三月二十二日ノ大統領令ヲ

改正スル千九百十一年六月二日ノ大統領令

《第二十八 衛生上有害ナル建物及ヒ物品ニ關スル千九百十一年七月二十二日ノ大統領令》

第二十九 公共衛生ニ關スル千九百二年二月十五日ノ法律及ヒ千九百三年三月七日ノ大統領令ニ由リテ交

付スヘキ検査證明書ノ事ニ關スル千九百十一年八月二十九日付内務大臣ノ訓令

第三十 千九百十一年度ニ於ケル防疫上ノ措置

第三十一 海上衛生ニ關スル措置

第三十二 市町村ノ衛生殊ニ保健ニ關スル千九百二年二月十五日ノ法律

目次終

○第六 海水浴場ノ衛生状態ニ關シテ知事ニ對スル千九百十一年八月七日付内務大臣ノ訓

令、橋梁堤防技監ニ對スル同年十月二十六日付郵電工部大臣ノ訓令、防疫官リビエ

ール氏及ヒマイユ氏ノ報告書

一、千九百十一年八月七日付内務大臣ノ訓令

海水浴場ノ衛生状態ニ關シテ千九百八年七月十八日付訓令ニ指示セル事項ハ爾後之ヲ佛國高等衛生會議ノ討議ニ付シ高等衛生會議ハ調査ノ結果全國幾多ノ市町村中比年益相増加スル浴客ノ保健上當局者ノ命令ヲ

遵守セサル者アルコトヲ認メタリ

五九二

高等衛生會議ハ海水浴場ノ設アル市町村ヲシテ各々良好ナル衛生状態ヲ保有セシメンカ爲メ議員セース縣防疫官醫學博士リビエール氏及ヒ議員橋梁堤防技監マイユ氏ヲシテ市町村吏員ニ對シ其當サニ確守スヘキ要點ヲ列舉セル報告書ヲ配付セシメタリ

該報告書ニ記述セル二氏ノ結論ハ既ニ高等衛生會議ノ是認スル所而シテ我内務省ハ今該報告書ヲ提ケテ之ヲ貴下ニ送付スルカ故ニ貴下乃チ之ヲ貴縣内所在海水浴場ノ設アル各市町村ニ配付シ以テ能ク之ヲシテ各良好ナル衛生状態ヲ保有セシメンコトヲ要ス

二、千九百十一年十月二十六日付郵電工部大臣ノ訓令

曩者内務大臣ハ本年八月七日付訓令ヲ以テ海水浴場ノ設アル諸縣知事ヲ經テ衛生状態ノ改良殊ニ下水ニ關スル命令ヲ指示セル報告書ヲ舉ケテ之ヲ關係市町村ニ配付セシメタリ該報告書ハ本年二月六日ヲ以テ高等衛生會議ノ是認シタル所ト爲レリ

高等衛生會議ハ關係市町村ヲシテ報告書ニ列舉セル事項ヲ參照シテ之ヲ確守セシメンカ爲メ凡ソ汚水ヲ海中ニ流下セシムル事ハ排水機關ノ完備セル地方ニ於テモ尙ホ一定ノ場合ニ於テ管轄行政廳ノ許可ヲ經ヘキ者ニシテ防疫上下水口ヲシテ十分ニ海濱ト相離隔セシムルコトヲ要スト爲セリ

市町村當局者ハ排水口ヲ設クヘキ位地ノ決定上橋梁堤防技師ノ協力ヲ仰カサルヘカラス

余ハ高等衛生會議々長カ余ニ聲明シタル希望ヲ達センカ爲メ特ニ此點ニ關シテ貴下ニ注意ヲ與フ貴下ニシテ沿海市町村ノ下水渠築造設計書ヲ接受セン乎其工事施行ノ爲メ沿海公有地ノ占有上關係行政規則ノ適用ニ由リテ當サニ遵守スヘキ條件ト防疫上潮流、風位及ヒ下水口ノ位地トヲ精査スルコトヲ要ス之ヲ要スルニ貴下ハ排水機關設計書ノ作製及ヒ沿海地方ノ衛生確保上關係市町村當局者ノ請求ニ應ジ之ニ對シテ技術上ノ協力ヲ爲スコトヲ要ス

三、防疫官リビエール氏及ヒマイユ氏ノ報告書

千九百十一年二月六日  
高等衛生會議是認

都會ト田舎トヲ問ハス凡ソ人類ノ集合地ニ於ケル衛生状態ノ改良ハ長久且困難ナル事業ニシテ其實行上必スヤ先ツ嚴密ナル一定ノ法式ヲ執ルコトヲ要ス然シテ衛生問題ノ與件ハ極メテ複雑ニシテ其解決モ亦容易ノ業ニ非ス苟モ漫然一切ノ關係問題ニ對シ物質的手段ヲ以テ同時ニ之ヲ解決セント欲スルトキハ竟ニ扞格牴牾何等ノ好果ヲ收得スルコト能ハス故ニ市町村ノ當局者カ其被治者ニ對シテ良好ナル衛生状態ヲ確保セント欲セハ當サニ必ス幾多ノ關緊問題ヲ區分シ其正サニ收得セント期セル實際的効果ノ分量ニ應ジテ其努力ノ度ヲ限定スルコトヲ要ス幾多ノ病因中第一、即今既ニ吾人カ能ク其性質及ヒ作用ヲ審ニシ從テ其豫防ノ途ヲ知悉セル者アリ又第二、未タ其原因ヲ審ニセス唯極メテ薄弱ナル基礎ニ基キテ僅ニ其豫防ノ途ヲ講スルニ過キサル者アリ又第三、或ハ衛生行政ノ惠澤ニ脱スル者アリ方今市町村ノ當局者カ衛生行政上當サニ其努力ヲ爲スヘキ者ハ實ニ此第一類ノ病因ノ豫防ニ在リ然シテ腸窒扶斯ノ豫防ハ集合性衛生行政ノ最大

五九三

要件ナリ衛生上得テ等閑ニ付スヘカラサル緊急ノ問題ハ浴場地ニ於ケル室扶斯病因ノ豫防ニ在リ而シテ浴場地ニ於ケル室扶斯ノ流行ヲ豫防セント欲セハ必ス先ツ飲料水ノ供給及ヒ汚物殊ニ糞尿ノ掃除ヲ完全ナラシメサルヘカラス

全國市町村ノ住民中往々飲用河水ノ上流ニ洗濯場ノ設アル者アリ又ハ汚物ヲ投棄セル河水其他衛生上何等ノ保護ヲ加ヘサル瀦水若クハ近傍ニ於ケル汚水ノ浸入セル井水ヲ飲用ニ供スル者アリ

殊ニ浴場地ニ於ケル衛生状態ノ不完全ハ實ニ出ツル者アリ乃チ便所ノ設アル民家極メテ稀ニ圍圃ノ掃除モ甚タ不規則ニシテ糞尿ヲ海中ニ流下セシムル者少ナカラス排水方法モ亦甚タ幼稚ニシテ下水渠ハ大抵蓋庇ノ設ナク雨水、家庭ノ汚水及ヒ糞尿ノ如キ皆之ヲ海中ニ流下シ以テ益々室扶斯ノ病因ヲ増加セシメスハ息マズ

之ヲ要スルニ沿海浴場地ニ於ケル衛生ノ第一要件ハ飲料水ノ好良ト汚水渠ノ適法ナル掃除トニ在リ故ニ我高等衛生會議ハ當局者ニ對シテ速ニ此種ノ提案ヲ爲スコトヲ要ス

○第十五 船内ノ驅鼠ニ關シ全國ノ沿海衛生區長ニ對スル千九百十二年四月十三日付内務大臣ノ訓令

船内ノ驅鼠ニ關スル千九百十六年五月十日付及ヒ千九百十八年二月十二日付本大臣ノ通牒ニ基キ今佛國高等衛生會議ノ是認セル調査報告書一部ヲ提ケテ之ヲ貴下ノ參考ニ供ス該報告書ハ巴黎市シユメン、エール街第

四十二號「ヂユネスト、ヘルシユル」株式會社製造捕鼠器械ノ審査ニ關スル者ニシテ專賣權取得後製造上多少ノ改正ヲ加ヘタル者ナリ之ヲ要スルニ貴下管轄區内ニ於テ適宜之ヲ使用スルコトヲ要ス

○第二十三 鑛泉場ニ關シテ千九百十年四月十三日ノ法律ヲ適用スル千九百十一年六月二十  
六日ノ大統領令

第一章 鑛泉場ノ開設

第一條 鑛泉場ノ開設ハ之ヲ知事ニ出願シ知事ハ之ニ對シテ領收書ヲ交付ス

鑛泉場開設ノ願書ヲ受理シタルトキハ左ノ手續ニ由リテ其審査ヲ行フ

第一 領收書交付ノ日ヨリ十五日以内ニ八日間願書ヲ市町村廳内ニ備付ケテ公衆ノ縱覽ニ供ス此期間滿了後知事ハ一名ノ審査委員ヲ任命シ審査委員ハ一日間市町村廳ニ於テ異議ノ申立ヲ受ク此期間ハ願書ノ公示及ヒ揭示ノ日ヨリ之ヲ起算シ市町村長ノ證明ニ由リテ此手續ノ完了ヲ證ス

第二 審査委員ハ異議申立臺帳ヲ閉鎖シテ之ニ署名シ即時自己ノ意見及ヒ審査中接受シタル關係書類ヲ添ヘテ之ヲ市町村長ニ送付ス

第三 然ル後審査ノ書類ハ之ヲ市町村會ニ付議シ市町村會ハ十五日以内ニ之ヲ議決スルコトヲ要ス市町村會カ議決ヲ爲サルトキハ市町村長之ヲ專行ス

第四 終リニ審査書類ヲ知事ニ送付シ知事ハ縣衛生會議ニ付議シタルノ後之ヲ内務大臣ニ移送ス

第二條 前條規定ノ手續完了後三箇月内ニ鑛泉場開設ノ願書ヲ決定ス

第二章 特別税

第三條 市町村若クハ市町村ノ一部分ニ於ケル特別税賦課ノ出願ニ關スル市町村會ノ議決書ニハ千九百十年四月十三日ノ法律第三條ニ規定セル基準ニ從ヒ課税ノ方法、定率、期間及ヒ課税ヲ充當スヘキ費目ヲ揭ク

第四條 特別税ノ設定ハ本令第一條規定ノ手續ヲ以テ行ヒタル調査ノ後之ヲ許可ス

第五條 特別税ハ納税者發着日ノ如何ニ拘ハラヌ之ヲ徴收ス

課税カ賃借料ヲ基準ト爲セル場合ニ於テ其賃借料ハ自餘一切ノ經費ト分離シテ之ヲ其占有シタル場所ニ揭示ス

第六條 特別税ハ五年以下ノ期間ニ非サレハ之ヲ設定スルコトヲ得ス但借款擔保ノ爲メ之ヲ設定シタルトキハ借款ノ折價ト同一期間之ヲ設定スルコトヲ得

第七條 特別税ノ定率ハ之ヲ市町村廳ノ入口ニ揭示シ又市町村廳ノ書記室ニ於テ之ヲ公衆ノ縦覽ニ供シ且市町村ノ住民ニ非サル者ノ宿泊スル旅館及ヒ造作付貸家ニ之ヲ揭示ス

第八條 特別税ヲ設定シタル鑛泉場ノ旅館若クハ貸間ノ主人又ハ家主ハ收税上市町村長カ無代ニテ交付シタル特別臺帳ヲ所有スルコトヲ要ス市町村長ハ此特別臺帳ニ檢印ヲ付シ空頁ヲ存スルコトヲナク頁ヲ逐フ

テ旅館宿泊者ノ氏名、住所發着ノ日付ヲ記入シ且課税ノ基準ト爲ルヘキ千九百十年四月十三日ノ法律第三條ニ列舉セル各種ノ場合ヲ揭ク

第九條 入浴季間鑛泉場ノ住民以外ノ者ニ家屋ノ全部若クハ一部分ヲ賃貸セント欲スル者ハ之ヲ市町村廳ニ届出テ特別税徴收ノ爲メ旅館ノ主人ト同一ノ臺帳ヲ所有スルコトヲ要ス

第十條 本令第八條及ヒ第九條ニ掲クル者カ浴客ヨリ宿泊料ヲ接受シタルトキハ納税義務者ニ對シテ特別税ヲ徴收シテ之ニ領收書ヲ交付シ課税徴收ノ日付及ヒ順序ヲ以テ市町村長カ無代交付シタル特別臺帳ニ其納税額ヲ記載ス

特別税ハ納税義務者ノ出發前ニ之ヲ徴收スルコトヲ要ス旅館若クハ貸間ノ主人又ハ家主ノ承諾ヲ以テ宿泊料ノ支拂ヲ延期シタルトキモ亦然リ

第十一條 納税義務者カ密カニ出發シタル場合ニ於テ本令第八條及第九條ニ列舉セル者ハ即時之ヲ市町村長ニ通知シ且治安判事ニ對スル免税ノ願書ヲ提出スルニ非サレハ其責任ヲ免カル、コトヲ得ス市町村長ハ二十四時間内ニ此願書ヲ治安判事ニ移送シ治安判事ハ無料簡易ノ方法ヲ以テ之ヲ決定ス

第十二條 入市税局若クハ市町村廳ノ集金吏員ハ徵税ノ所得ヲ收集センカ爲メ定期ニ本令第八條及ヒ第九條ニ列舉セル者ノ宿所ニ出張シ旅館及ヒ造作付貸家ニ於ケル出張ハ少ナクトモ五日毎ニ之ヲ行フコトヲ要ス集金吏員ハ鑛泉場ノ住民ニ非サル者ノ記入臺帳及ヒ本令第八條及ヒ第十條ニ規定セル徴收臺帳檢査

ノ後前回ノ検査以後徴收シタル税額ヲ記入シ即時徴收臺帳ニ其事實ヲ記入シテ旅館若クハ貸間ノ主人又ハ家主ノ責任解除ヲ行フ

集金吏員ハ又各納税額ヲ剝取臺帳ニ記入シ即時領收書ヲ交付ス此剝取臺帳ハ集金吏員カ金庫ニ對スル拂込ノ證明トシテ之ヲ市町村收入役ニ提出スルコトヲ要ス

第十三條 集金吏員ハ宣誓前保證金ヲ納付スルコトヲ要ス保證金ノ割合ハ市町村長之ヲ定メ二百法以下ニ出ツルコトヲ得ス

收税官ニ非サル入市税局ノ吏員モ亦特別税徴收ノ事ニ任スルトキハ同一ノ保證金ヲ提供スルコトヲ要ス

第十四條 本令第八條及ヒ第九條ニ掲クル者カ保管スヘキ臺帳及ヒ集金吏員カ交付スヘキ領收書ハ當該官憲ノ要求ニ由リテ之ヲ提示スルコトヲ要ス該臺帳ハ毎年市町村長指定ノ時期ニ於テ市町村廳ノ書記室ニ之ヲ提出シ市町村廳ハ之ニ對シテ領收書ヲ交付ス

第十五條 納税義務者ハ旅館若クハ貸間ノ主人又ハ家主ノ自己ニ對スル課税若クハ其賦課税額ニ對シテ異議アル場合ト雖モ其係争税額ヲ納付スルコトヲ要ス但入市税ニ關スル訴訟ノ原則、手續及ヒ期間ニ基ツキテ治安判事ノ決定後其償還ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 收税手續ノ犯則ハ司法警察官、集金吏員及ヒ間税署員之ヲ檢證ス

第十七條 收税手續ノ犯則ニ對スル罰金ノ最低額ハ其未拂税額ト同一ナルコトヲ要ス詐欺ノ場合ニ於テハ之ヲ三倍シ其他ノ場合ニ於テハ之ヲ二倍スルコトヲ得

右罰金ハ千九百十年四月十三日ノ法律第四條ニ由リテ其償還ヲ求ムルコトヲ得

刑法第四百六十三條ハ之ヲ本令ノ犯則ニ適用ス

第十八條 特別税ノ所得及ヒ其用途ハ特種ノ豫算及ヒ決算ニ屬シ其歲出入ハ單一ナル款項ヲ以テ市町村ノ豫算及ヒ決算ニ計上シ特別税ノ豫算及ヒ決算表ハ其附録トシテ之ヲ證明及ヒ説明ノ資ニ供ス

第十九條 特別税ノ用途ニ關スル歲出入豫算表ハ市町村長之ヲ調製シ市町村ノ一般豫算ト共ニ市町村會之ヲ議決シ鑛泉場會議所ノ意見ヲ徵シテ知事之ヲ認可ス

第二十條 特別税ノ用途ニ關スル歲出入豫算表ハ左ノ事項ヲ含ム

歲入

第一 市町村カ徴收セル特別税ノ所得

第二 本令第十七條ニ規定セル罰金

歲出

第一 特別税ノ徴收費

第二 鑛泉場會議所ノ經費

第三 特別税ノ所得ヲ以テ擔保ト爲セル千九百年四月十三日ノ法律第一條規定ノ經費

第二十一條 市町村長ハ特別税ノ決算ヲ鑛泉場會議所ノ審査ニ付シ市町村會ハ自餘市町村ノ一般決算ト共ニ之ヲ認可ス然ル後内務大臣ハ知事及ヒ全國鑛泉場常置委員ノ意見ヲ徵シテ之ヲ確定ス

第三章 鑛泉場會議所

第二十二條 鑛泉場會議所設立ノ願書ハ鑛泉場ノ開設ニ關スル千九百年四月十三日ノ法律第一條及ヒ第六條規定ノ條件ニ從フ

鑛泉場カ數多ノ町村ニ關係スルトキハ鑛泉場會議所ノ設定ニ關スル大統領令ヲ以テ鑛泉場會議所ノ所在地ヲ定ム

市町村會カ自ラ鑛泉場會議所ノ設定ヲ出願セサルトキハ市町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ決定ス

第二十三條 千九百年四月十三日ノ法律第二條ヲ以テ許可シタル特別税ハ會議所ノ設アル鑛泉場ニ於ケルニ非サレハ之ヲ設定スルコトヲ得ス

第二十四條 鑛泉場會議所議員ハ無給トス

第二十五條 選舉組合ヲ組織センカ爲メ又ハ鑛泉場會議所ニ於ケル代表者タラシメンカ爲メ鑛泉場會議所ノ設定ニ關スル大統領令指定會議所議員中ニ醫師、藥劑師、旅館若クハ貸問ノ主人、季節商人及ヒ鑛泉場代表者ヲ加フ

第二十六條 鑛泉場會議所ノ選任議員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ組織セル選舉會之ヲ選舉ス

第一 齡二十五歳ニ達シ公權及ヒ私權ヲ享有シ三年以上其所在地鑛泉場ニ於テ鑛泉場會議所ノ設立ニ關スル大統領令ニ指定セル職業ヲ營ナメル佛國公民

第二 鑛泉場所在地ニ於テ三年以上選舉權ヲ取得スヘキ職業ヲ營ナミ其地ニ本籍ヲ有スル者

第二十七條 職業別ニ由レル選舉人名簿ハ毎年議長タル市町村長、市町村會カ指定セル市町村會議員及ヒ鑛泉場會議所カ指定セル鑛泉場會議所議員各一名ヲ以テ組織セル委員會之ヲ調製ス未タ設定セラレサル鑛泉場會議所議員ノ選舉ヲ行フヘキ選舉人名簿調製ノ場合ニ於テハ鑛泉場會議所ノ設定ニ關スル大統領令指定ノ職業ヲ營ナメル者ノ中ヨリ知事自ラ尙ホ一名ノ委員ヲ任命ス

鑛泉場會議所ノ設定ニ關スル大統領令ヲ以テ鑛泉場開設ノ時期ト相適合スル時期ヲ定メ關係者ハ其間選舉人名簿ノ記入及ヒ選舉人名簿檢査ノ時期ニ關スル規定條件ヲ完備スルコトヲ要ス

第二十八條 選舉人名簿ハ市町村廳ノ書記室ニ備付テ之ヲ公衆ノ縱覽ニ供ス此備付ノ通告ハ即時之ヲ其市町村内ニ公示ス

第二十九條 右備付後十五日間關係者ハ自己ノ誤脱若クハ不當記載者ノ削除ヲ要求スルコトヲ得此要求ハ治安裁判所ノ書記室ニ對スル單純ナル届出ニ由リ無料ニテカントン治安判事ニ之ヲ提起シ裁判所ハ之ニ對シテ領收書ヲ交付ス

治安判事ハ商事裁判所役員ノ選舉ニ關スル千八百八十三年十二月八日ノ法律第五條規定ノ手續及ヒ期間内ニ之ヲ決定シ其第六條及ヒ第七條ハ之ヲ適用ス

第三十條 選舉會ハ市町村議員ノ選舉ニ關スル千八百八十四年四月五日ノ法律第十五條規定ノ原則ニ由リテ之ヲ召集シ之ヲ鑛泉場會議所ニ代表セラレタル職業別ノ數ト同一ノ部ニ分チ市町村長若クハ助役又ハ市町村長カ指定セル一名ノ市町村會議員ヲ以テ部長ト爲ス部長ハカメテ其部内ヨリ選任シタル二名ノ選舉人ノ輔佐ヲ受ク

投票ノ時間ハ知事之ヲ定メ三時間以内ニ下ルコトヲ得ス

同一選舉人ハ數多ノ部ニ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 本令第二十七條第二十八條及ヒ第二十九條ニ由リテ調製シタル選舉人名簿ニ記載セラレタル選舉人ハ總テ被選權ヲ有ス

第三十二條 選舉ハ各部ヲ通シ連記投票ヲ以テ之ヲ行ヒ何人ト雖モ絶對多數ヲ得ルニ非サレハ第一次投票ニ於テ選舉セララル、コトヲ得ス

第二次投票ハ次週ノ日曜日ニ相對多數ヲ以テ之ヲ行フ數多ノ候補者ノ得票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選者トス

投票ノ結果ハ各投票部長之ヲ宣言シテ市町村廳ノ入口ニ之ヲ揭示シ即時選舉明細書ヲ作りテ之ヲ知事ニ

## 移送ス

第三十三條 鑛泉場會議所議員ノ選舉ニ關スル異議ノ申立及ヒ上訴ハ市町村會議員ノ選舉ニ關スル千八百八十四年四月五日ノ法律ノ規定ト同一ノ條件ヲ以テ之ヲ提起シ且之ヲ裁決ス

第三十四條 鑛泉場會議所議員ノ任期ハ四年トス

不時ニ生シタル缺員ノ結果鑛泉場會議所議員カ半數ニ減シタルカ又ハ代表セラレタル職業別ノ一部全體カ總テ其議員ヲ失ヒタルトキハ其最後ノ缺員發生ノ時ヨリ一年内ニ且カメテ次回ノ鑛泉場開設季節ノ初ニ補缺選舉ヲ行フ

總選舉ヲ行フヘキ年中補缺選舉ヲ行フコトヲ得ス

第三十五條 鑛泉場會議ハ知事カ必要ト認メタル場合若クハ鑛泉場會議所議員ノ多數又ハ職業別各部全員ノ要求アルトキハ八日以内ニ之ヲ召集ス

鑛泉場會議ハ其所在地市町村ノ指定地ニ之ヲ召集シ毎年仕拂命令官タル副議長、幹事及ヒ會計主任各々一名ヲ選任ス

第三十六條 鑛泉場會議所ハ議員半數以上ノ出席アルニ非サレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス三日間ノ間隔ヲ置キテ逐次二回ノ召集ヲ爲シタルモ尙ホ出席議員カ定數ニ達セサル場合ニ於テ第三回召集後ノ議決ハ出席議員數ク如何ニ拘ハラヌ之ヲ有効トス

議決ハ絶對多數ヲ以テ之ヲ行フ  
可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第三十七條 鑛泉場會議所ハ毎年十一月一日マテニ知事ヲ經由シテ其事業ノ總報告書ヲ内務大臣ニ提出ス

第三十八條 鑛泉場會議所ノ豫算ハ左ノ如シ

歳入

第一 市町村ノ補助金若クハ其他ノ所得

第二 個人ノ寄附金及ヒ補助金提供ノ所得

第三 贈與及ヒ遺贈ノ所得

第四 千九百十年四月十三日ノ法律第一條ニ規定シテ其第七條第七項ニ由リテ施行ヲ許可シタル第一條列舉ノ工事ニ充當スヘキ特別税ノ全部若クハ一部分ノ所得

歳出

第一 經理費、煖房費及ヒ點燈費

第二 市町村會ノ許可ヲ經タルカ又ハ鑛泉場會議所固有ノ財源ヲ以テ開設シタル鑛泉場ノ衛生、整頓及ヒ裝飾ニ關スル工事費

第三十九條 鑛泉場會議所ハ每年上半期中ニ關係書類ヲ添ヘテ前年度歳出入ノ決算報告書及ヒ次年度ノ歳出入豫算案ヲ知事ニ提出シ知事ハ市町村會ノ意見ヲ徵シ之ヲ内務大臣ニ移送シテ其認可ヲ求ム

第四十條 鑛泉場會議所ノ經理費、煖房費及ヒ點燈費ハ其財源不足ノ場合ニ於テ特別税ノ所得ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四章 鑛泉場常置委員會

第四十一條 佛國鑛泉場常置委員會ハ内務大臣ニ隸屬シ五十名ノ委員ヲ以テ之ヲ組織シ其中委員長タル參事院内務部長、内務省賑恤衛生局長、内務省地方局長、内務省警保局長、大藏省主計局長、工部省鑛山局長、陸軍省衛生局長、海軍省中央衛生課長、殖民地高等衛生會議議長、巴黎醫科大學長及ヒ巴黎藥劑學校長ノ十一名ハ職務上當然委員ト爲リ七名ハ參事院、會計検査院、學士院科學部及ヒ醫學部、中央鑛山會議、高等衛生會議及ヒ巴黎醫科大學之ヲ選任シ元老院議員三名、代議院議員三名、内務省視政長官一名、鑛泉場所在市町村長四名、鑛泉場ノ衛生行政ヲ主管スル者若クハ鑛泉場ノ經濟的利益代表者中ヨリ選任シタル二十一名即チ合計三十二名ハ内務大臣ノ推薦ニ基ツキテ大統領之ヲ任命ス

職務上委員ト爲ラサル者ハ三年トス

第四十二條 内務大臣ハ參事院評定官補及ヒ會計検査官中ヨリ數名ノ特別説明員ヲ選任シ之ヲシテ發言權ヲ有シテ常置委員會ニ參加セシメ其主管事件ニ關シテ議決權ヲ有ス



常置委員會付託事件ヲ主管セル内務省賑恤衛生局及ヒ警保局ノ課長モ亦發言權ヲ有シテ會議ニ參加ス  
内務大臣ハ一名ノ幹事及ヒ數名ノ幹事補ヲ任命シ常置委員會ニ屬シテ議事録ヲ作製シ且文書ヲ保管セシ

第四十三條 常置委員ハ毎年自ラ二名ノ副議長ヲ選舉ス

第四十四條 常置委員會ハ委員長之ヲ召集ス委員十五名ノ出席アルニ非サレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條 毎年千九百十年四月十三日ノ法律第二條ノ規定ニ由リ鑛泉場ニ於ケル收稅所得ノ用途ニ關ス

ル報告書ヲ作りテ鑛泉場會議所ノ議決ト共ニ之ヲ常置委員會ニ送付シ委員會ハ之ヲ審査シテ總報告書ヲ  
内務大臣ニ提出シ内務大臣ハ官報ニ登載シテ公示ス

第四十六條 「アルヂェリー」ニ對スル本令ノ適用ハ後日之ヲ定ム

第四十七條 内務大臣ハ本令ノ施行ニ任シ本令ハ官報ニ公示シテ之ヲ法令彙纂ニ合綴ス

○第二十四 鑛泉場常置委員會ノ組織ニ關スル千九百十一年十一月九日ノ大統領令

第一條 左ニ掲クル諸氏ヲ佛國鑛泉場常置委員ニ任命ス

元老院議員アスチエ氏、同ドノア氏及ヒ同アリヤン氏

代議院議員シアツセン氏、同ラシヨール氏及ヒ同ラビエ氏

内務省視政長官フユヂアレ氏

ラマル市居住醫學博士ブルユグ氏

巴黎聖路易病院外科醫長醫學博士ルイ、ブールニエ氏

エ、レ、ベン市居住醫學博士ブラン氏

コントルクセギル市居住醫學博士ブールシエ氏

巴黎醫術用水學協會員醫學博士カロン、ド、カリエール氏

并シイ市居住醫學博士ドユラン、フアルデル氏

ルイシヨン市居住醫學博士フエラ氏

ブールボン、ランシイ居住醫學博士ビヤト氏

鑛泉場醫師會々頭教授ロベン氏

ブールブール市旅館主ルギーム氏

コトトレ市及ヒポー市所在旅館主メイロン氏

シアートル、グユイヨン市旅館主エドリース氏

回遊俱樂部主幹バイリフ氏

回遊俱樂部營業會議々員參事院付辯護士ドフェル氏

カルヴド縣知事ハンドレ氏

上ツアヲ縣知事リシアール氏

鑛泉場商工會議所議員シアル、フエール氏

鑛泉場同盟會員ルフエーヴル氏

不動産所有者及ヒ遊戯場主組合會員ムレイ氏

前代議院議員セール氏

内務省名譽次局長ド、ピロ氏

第二條 内務大臣ハ本令ノ施行ニ任ス

○第二十五 鑛泉湧出地ノ保護ニ關スル千八百五十九年五月三十一日ノ大統領令ヲ適用スル  
千九百十一年一月二十六日ノ大統領令

佛國共和大統領ハ内務大臣ノ報告千九百十年八月二十九日付上マルヌ縣知事出願、願書添付ノ圖面、審査書類、審査委員會ノ意見、鑛山技師ノ報告、水質ノ分析書、千九百十年十一月二十八日付佛國高等衛生會議ノ意見書、千九百十年十二月九日付中央鑛山會議ノ意見書、千八百二十三年六月十八日ノ勅令、千八百五十六年七月十四日ノ法律、千八百七十一年八月三十日ノ大統領令、千八百八十八年四月十一日ノ大統領令、千八百八十九年一月五日ノ大統領令、千九百八年十二月二日ノ大統領令、泉源ノ公益宣言ニ關スル千八百五十九年五月三十一日ノ大統領令及ヒ千八百六十年四月四日ノ大統領令ニ基ツキ參事院ノ諮詢ヲ經テ左ニ

掲クル千八百五十九年五月三十一日ノ大統領令ヲブールボンヌ鑛泉ニ適用ス

第一條 上マルヌ縣ラングル郡ブールボンヌ、レ、ベン町ニ於ケル國有ブールボンヌ鑛泉浴場ノ水源ハ之ヲ公益ト宣言ス

第二條 右水源ノ周圍ニ本令附屬圖面ニ由リ左ノ如ク保護圈ヲ設ク下

第三條 知事ハブールボンヌ町及ヒ上マルヌ郡ノ主要地ニ本令ヲ揭示シテ之ヲ公告ス

第四條 農商工部大臣ハ本令ノ施行ニ任シ本令ヲ法令彙纂ニ合綴ス

第二十八 衛生上有害ナル建物及ヒ物品ニ關スル千九百十一年七月二十二日ノ大統領令

第一條 千八百八十六年五月三日千八百八十八年五月五日千八百九十年三月十五日千八百九十二年一月二十六日千八百九十四年四月十三日千八百九十六年七月六日千八百九十七年六月二十四日千八百九十七年八月十七日千八百九十八年七月二十九日千八百九十九年七月十九日千八百九十九年九月十八日千九百年十二月二十二日千九百十一年十二月二十五日千九百十三年十一月二十七日千九百十五年八月三十一日及ヒ千九百十九年六月十九日ノ各大統領令附錄表ニ列舉セル衛生上有害ナル建物及ヒ物品中ニ亞砒酸ヲ加フ

第二條 商工務大臣ハ本令ノ施行ニ任シ本令ヲ法令彙纂ニ合綴シ官報ヲ以テ之ヲ公示ス

## 十二指腸蟲ノ害及豫防並ニ治療法

ロツクフエラー衛生委員 醫師 ジョーシ、エ、フアレル氏述

〔千九百十五年二月北米合衆國衛生委員ロツクフエラー衛生委員會發行ノ「十二指腸蟲ノ害及豫防並ニ治療法」ト題スル小冊子ニ據ル〕

十二指腸蟲病ハ其流行地域ニ於テハ既知ノ疾病中最モ陰惡ニシテ且ツ有觸レタル而カモ容易ニ豫防シ得ハキ疾患ナリ、本病ハ嘗ニ其死亡率ノ顯著ナルノミナラス人ヲシテ病苦ト經濟上ノ損害トヲ招致セシム、由來世ノ精神及道德ノ欠陥ニ屬スルモノト見做サレタル數多ノ罪惡ハ此傳染病ニ因由シ且ツ治療ニ依リ癒ヤサルヘキコト明カトナレリ、而シテ本病ノ撲滅ハ合衆國ノ南部諸州並ニ他ノ熱帶、亞熱帶地ノ人民ニ對スル最モ緊要ナル問題ナリ、尙ホ最近數年間ニ於ケル進歩ハ本病ノ撲滅ニ伴フ人類ノ福利ト産業上ノ裨益寡カラサルヲ證明シ且ツ初步ノ攝生法ニ則リタル通俗簡易ノ豫防策ノ適切ナルヲ示セリ

## 十二指腸蟲病ノ所在

十二指腸蟲病ハ南北緯三十度以内ニ位スル全地帯若クハ地球人民ノ半數以上ヲ占ムル總テノ熱帶及亞熱帶地ニ多少流行的ニ存在ス、此等ノ諸國ノ多數ニ於テコノ貧血ヲ呈スル傳染病ハ著シク流行シ、ポルトリコ、コロンビアノ低地及セイロン、蘭領ギヤナノ甘蔗栽培地ノ多クハ總人口ノ九十%ノ罹病者アルカ如シ、千九百四年以降ポルトリコニ於テ本病ノタメ治療ヲ受ケタルモノ三十萬人以上ニ及ヘリ、千九百年及其翌年ニ

ハ貧血ヲ以テ死亡セルモノ一萬一千八百七十五人即チ此島ニ於ケル總死亡ノ三三・二%ニ相當ス、千九百二年及同三年ニハ十二指腸蟲ニ對スル處置ノ結果六千八百三十人ノ死者ヲ出シタルカ千九百四年及同五年ニハ四千六百九十三人、千九百六年及同七年ニハ千三百三十四人、千九百七年及同八年ニハ千七百八十五人ニ減少スルニ至レリ、從來此貧血ノタメ久シク懶惰儉安ノ徒ナリト着目セラレタルポルトリコ人ノ大多數ハコノ特種ノ傳染病ノ罹病者タリシコト明カトナレリ、而テ本病ニ對スル大規模ノ措置ハ同島ヲ變革シ禍患ト窮乏ニ代フルニ健康ト繁榮ヲ齎ラシツ、アリ

合衆國ニ於テハ本病ハポトマツク、オハイオ河ノ南部諸州、アルカンサス、ミズウリ、オクラホマ、テキサス、カリホルニヤニ存在シ、其流行ト病勢ハ州及郡内ニ於テモ著シク差異アリ、或ル地方ニ於テハ人民ノ一%以下ノ感染ナルニ他ノ地方ニ於テハ九十%以上ニ及フコトアリ、一般ニ重キ傳染ハ海岸地ノ輕鬆ナル砂多キ土地ニ輕キ傳染ハピエモント地方ノ強キ粘土ノ地ニ中等ノ傳染ハ山麓ノ小丘及山地ニ認メラル、ト云フ、本病ハ特ニ農業地ノ疾病ニ屬ス、其農業地タルヤ國內ニ於テ最モ健康地ヲ以テ任スヘキモノナルニ拘ハラズ多數ノ人民カ常ニ體方ト智力ニ不足ヲ訴ヘツ、アルヲ説明スルニ足ル、千九百十年ヨリ千九百十三年ニ至ル四ヶ年間ニ南部十一州ノ四百十三郡ニ於テ四十一萬五千餘ノ學童ヲ検査シタルニ、其四十三%ハ本病ニ感染セルヲ見タリ、又同一ノ殖民地ニ於テ總テノ年齢ヲ通シテ隨意ニ撰ヒタル七十萬餘ノ人民中、三五%ノ罹病者アルコトヲ認メタリ、而テ患者ノ大多數ハ完全ニ治療シタリ

個人治療カ續發ヲ豫防スヘキ簡單ナル衛生ノ改良ト相俟テ行ハレタル場合ニハ公共ハ最モ顯著ナル利益ヲ表ハセリ、例ヘハケンタッキ、ノバインヱイルニ於ケル大陸石炭會社 (Continental Lowl Corporation) ノ假令ニ於テ、千九百十一年六月現在ヲ以テ同商會ノ支給ヲ受ケタルモノ千八百人ナルカ、其六十五%ハ本病ニ感染シ其他約百五十人ノ「チフス」患者ト多數ノ腸加答兒患者トアリ、同地ハ一般ニ衛生便所欠乏セルヲ以テ到ル處土地及給水ハ汚染セラレ且ツ蠅ハ自由ニ飛ヒ交フノ有様ナリキ、故ニ衛生便所ヲ設置シ以テ十二指腸蟲ヲ撲滅スルノ方法ヲ採用シタリ、之レニ由テ土地ノ汚染ヲ防キ蠅ノ媒介ニテ病毒ヲ屋内ニ運フコトヲ遮リ、且ツ給水ヲ安全ニ保ツコトヲ得タリ、其結果トシテ翌年ニハ同一ノ人力ヲ以テ前年ニ比シ三三%以上多クノ石炭ヲ車ニ積載シ得ルニ至レリ、尙ホ千九百十二年ノ夏季ニハ此假令ニ於テ毫モ「チフス」ノ發生ナク、又下痢患者ハ約半數ニ減セリ

#### 十二指腸蟲ノ罹病者ニ及ホス影響如何

本病ハ氣候溫暖ナル諸國ニ隱微ノ間ニ蔓延シ、其無數ノ患者ハ勿論本病ノ原因タル血液ヲ吸取スル腸寄生蟲ノ宿主ナリキ、而テ此等ハ勇氣挫ケ活動力減シ身體及智識ノ發達ハ阻害セラレ、北方ノ冷カナル地ノ強健ナル人民トノ商工業ノ競争ニ敗レタリ、斯クノ如ク本病カ社會上及經濟上重要ナル關係ヲ有スルハ眞ニ意料ノ外ニアリ、本病ハ殆ント病徵ヲ呈セサル外見上健康ナル患者及恐ラクハ感染セル家人ニ由リ密カニ感染スル場合少カラス、兩三年ノ夏季ノ間ニ曾テ健康ナリシ家族ハ蒼白虛弱トナリ、又勤勉ナリシ家族モ

怠惰トナリ業務ハ退歩シ、富有ノ家族モ負債ヲ生シ曾テ其豊カナル資産ヲ誇レル家族モコノ容易ニ治癒シ且豫防シ得ヘキ疾病ノタメ遂ニ小作人トナリ貧窮ニ陥ルニ至レリ、曾テ級中ニ於テ伶俐ニシテ其進歩モ著シカリシ學童モ熱心ト注意力ヲ失ヒ他ノ健康ナル學友ト競争ニ後レ或ハ他ノ凌辱スル所トナリ自暴ノ結果學業ヲ廢スルニ至ル

以上述ヘタルハ本病ノ害毒ニ關スル誇大ノ觀察ニ非ス、ケンタッキノ坑夫ノ例ニ於テ述ヘタル經濟上ノ損害ハ本病ノ流行地ニハ隨所ニ認メラル、ポルトリコニ於ル健康ナル珈琲採集者ハ一日中五〇〇乃至六〇〇樹ヲ採集ス、醫師ウイツクリツフローズ氏ハ一日中ニ僅ニ一〇〇乃至二五〇樹ヲ採集セル多數ノ患者ヲ見タリト云フ、而テ一大農園ノ管理者カ同氏ニ語ル處ニ依レハ此疾病ノ爲珈琲產地ノ平均勞働力ハ規定ノ半數ニ減少セリト云フ、エクスアドルノ或ルカ、オ栽培地ニ於ル三百ノ勞働者ハ「マラリヤ」及十二指腸蟲ノ貧血ノ爲秩序アル日課ノ三分ノ一以上ヲナシ能ハサリシト云フ、英領ギヤナノ甘蔗栽培地ノ管理者ハ十二指腸蟲ニ對スル治療ノ結果數組ノ作業力ヲ二培ニセル事ヲ報告シタリ、三百人餘ヲ使役セルカリホルニヤノ或ル鑛山ニ於テハ十二指腸蟲ニヨル貧血ノ爲作業ニ堪ヘサルモノヲ、取り換ユルニ當リ一定ノ時期ヲ限リ多人數ノ支拂ヲナスヲ要スルヲ以テ、一ケ年間ニ勞銀ノ二%即二萬ポンドノ損失ヲ來スノ割合ナリトイフ南アトランチック及ガルフ州ニ於テハ本病ハカリホルニヤヨリモ一層流行シ農場及綿製造所ニ於ケル損失ハ莫大ナリ

南部ノ織機工場ニ於ケル織リ手ハ、元來ニユーイングランドノ織機ニ從事セル歐羅巴ノ移民ニ比シ其技劣等ナラサルモ、織リ手ノ多數カ本病患者ナルヲ以テ時トシテ毫モ作業ノ効果ヲ認ムル能ハサルコトアリ、又南部ノ田地ハ豊饒ニシテ其所有者等ノ祖先ハ、金錢ノ欠乏ノタメリ及デヤクソンノ下ニ戦ヒタルモノニアラス、サレト此土地ノ純良ナル血統ヲ受ケタル多數ノ人々カ此疾病ノタメ怠惰トナレリ、而テ今ヤ數百ノ患者カ治療ニ由リ性格ノ缺點ヲ矯正シ得タルヲ以テ考フルモ本病カ道德及經濟ノ上ニ及ホス影響ノ偉大ナルヲ證明スルニ足ル

#### 小兒ノ發育ノ障害

十二指腸蟲ハ兒童ノ發育ヲ著シク妨害スルモノニシテ、學校ノ記録ニ依レハ外觀上疾病ト認メラレサルモノニ於テモ尙ホ本病ニ感染セルモノアリ、此等ノ生徒ハ感染セサルモノニ比シ其學業劣等ナリ、或ル女學校ニ於テ本病ニ感染シタル五十六人ノ生徒中平均ノ在學者ハ七七・七五%ナリキ、但シコノ五十六人ハ疾病ナキモノト認メシ生徒ノ中ヨリ隨意ニ撰ヒタルモノニシテ平均八九・二八%ナリ、同シク或ル中學校ニ於テ二十五人ノ感染シタル一群ノ在學者ハ平均六四%ニシテ毫モ感染者ナキ他ノ一群ノ在學者ハ平均八六%ナリキ、南部ノ各地ニ於ケル教師等ハ十二指腸蟲ヲ驅除シタル生徒ハ直ニ熱心、才智、體重、外貌等ニ於テ著シキ進歩アルヲ報告ス、ミズウリノブレンチス郡ニ於ケル十二指腸蟲撲滅隊長ノ報告セル左ノ一例ハ此事業ニ於ケル醫師ノ實驗中最モ適當ナル模範タルヲ得ヘシ

吾人ノ治療セル一少年ハ遭遇セシ患者中最モヨキ適例ナリ、此少年ハ烈シキ咳嗽ヲナシ恰カモ進行セル結核ノ如キ容態ニテ醫局ニ來レリ、其容貌ハ苦惱ノ狀ヲ呈シ殆ント失意セルモノ、如クナリキ、裁判所ノ人々ハ皆此患者ニ注意ヲ拂ヒ多クハ診察ノ結果ヲ知ランカタメ熱心ニ注目セリ、患者カ醫局ヲ去リタル後某ハ余ニ彼レカ治療シ得ヘキカヲ問ヘリ、余答ヘテ曰ク只最善ヲ盡サンノミト、其後某ハ患者カ短時日内ニ死亡スルナラント信シ、余ニ親切ニ語りテ曰ク足下ハコノ少年ニ望ヲ維持シテ取扱ハル、ハ間違ナリト考フト

此患者ニ命スルニ病氣ノ治癒スル迄毎週來ルヘキ旨ヲ以テセルニ彼ハ其通りニ實行シタリ、裁判所ノ官吏ハ毎週患者ノ來ル毎ニ其經過ヲ知ランカタメ醫局ニ招カレル様斷ニス要求セリ、一週後患者ハ初メテ來院セルカ頗ル輕快ノ模様ナリキ一週間前ニハ患者ハ人ヨリ質問セラルレハ只然リ、否ト答フルノミニ過キサリシカ既ニ此時ニハ面白氣ニ朋友ト戲言ヲ交ヘツ、莞爾トシテ入り來レリ、彼ハ一週間以前服藥セルノミナルニ非常ニ輕快ヲ覺ユル旨ヲ語レリ、而テ余ハ彼ノ體重ヲ計リシニ數ポンドヲ増セルヲ見タリ、患者ハ一週間毎ニ三回ノ治療ヲ受ケタルニ此疾病ヨリ快癒シ、最初ノ治療ノ時ヨリ體重ノ十八ポンドヲ増セリ、而テ余ハ彼ノ少年カ最初醫局ニ來リシ頃ハ辛フシテ歩行シ得ルニ過キサリシカ、最後ニハ友人ト共ニ七哩ノ歸路ニ就ケルヲ見タリ

無學ト不注意ノ罰

以上ト其意義ヲ同シクスル多數ノ引證スヘキ實例ハ南部ノ人民カ診斷、治療、豫防等ノ最容易ナル本病ニ關スル智識ナキト不注意トニ由リ金錢、健康、智力ノ上ニ多大ノ損失ヲ來シツ、アリシコトヲ證明スルニ餘リアリ、之レ必竟患者ノ糞便ト共ニ排出スル蟲卵ヲ土壤ニ委スルノ衛生上ノ不注意ニ基クモノニシテ、此蟲卵ハ嚙テ傳染性ノ仔蟲ニ孵化シ或ハ他人ニ疾病ヲ傳播シ若クハ既ニ本病ニ罹レル患者ノ病勢ヲ助長セシム、思フニ本病ノ如ク世人ニ熟知セラレ且俗人ニモ十分説明シ得ヘキモノナカルヘク又斯クノ如ク其蔓延甚シク何人ニモ簡單ナル豫防法ヲ以テ容易ニシカモ確實ニ防禦シ得ヘキ疾病ハ之レヲ他ニ求ムルコト能ハサルヘシ、本病ノ制壓ハ要スルニ土地汚染ニ對スル教育ノ問題ニ歸著ス、故ニ可及的多數ノ人民ハ十二指腸蟲ノ來歴、分布、發育順序、症候、治療法特ニ完全ナル豫防法ヲ詳知スルヲ要ス

#### 十二指腸蟲發見ノ由來

十二指腸蟲病ハ新奇ノ疾病ニ非ルモ只近時熟知セララル、ノミ、本病ノ症候ハ埃及帝國ノ記錄ニ記載シアレトモ其原因ハ不明ナリキ、十二指腸蟲ハ一千八百三十八年アングロ、ズビニイ氏カ伊太利ニ於テ發見シタルモノナリ、氏ハ死體解剖ノ際小腸ノ粘膜ニ頭部ヲ埋沒セル白キ小蟲ヲ發見シタレトモコノ寄生蟲カ貧血ニ關係アルモノタルヲ想像セサリキ、然ルニ千八百七十七年伊太利ノ醫師グラツシハ貧血患者ノ糞便中ニ此蟲ヲ認メ之カ本病ノ原因ヲナスニアラスヤト思ヘリ、殆ト同時ニ醫師コロミアチハセントゴツトハルト隧道ニ於ケル多數ノ労働者ノ死ヲ惹起シタル不明ノ疾病ヲ研究シコノ隧道病者ノ或ルモノ、腸内ニ千四百

以上ノ十二指腸蟲ヲ認メタリ、コノ舊屬十二指腸蟲 (Old World Hook worm) トシテ知ラレ或ハ「アンキロス トマツオデナール」ト名ケラレタル寄生蟲カ熱心ニ研究セラレ、南歐羅巴ニ於ケル貧血病ノ確實ナル型トシテ證明セラレ且本病ニ對スル有効ナル治療法發達シタリ

新屬ノ十二指腸蟲病ノ流行ハ近來漸ク認メラル、所ニシテ是ヨリ先キ千八百九十九年十一月二十四日合衆國軍醫團ノアシホード氏ハポルトリコニ於ケル暴風ニ由ル饑饉ノタメト見做サレタル貧血患者ヲ治療セル間ニ蔓延セル疾病ノ原因トシテコノ十二指腸蟲ヲ證明シタルモ同民ハ之レヲ舊屬ノモノト考ヘタリ、千九百二年ニ於テアメリカ合衆國衛生局ノスタイルス氏ハ之レト同一ノ疾病ヲ南部諸州ニ於テ發見シ、其原因ヲ十二指腸蟲ノ異ナル種屬即新屬若クハ「ネカートルアメリカヌス」トシテ知ラレタルモノヲ認メタリ其ノ後ポルトリコニ於テ發見シタルモノモコノ種屬ナルコト明瞭トナレリ、其後ニ至リアフリカ低地ノ患者中貧血ノ原因トシテ之レト同一ノ十二指腸蟲發見セラレタルカ此發見タルヤ所謂新世界型カ奴隸賣賣ニ依リ、ポルトリコ及南部諸州ニ侵入シタルコトヲ證明スルモノナリ、コノ新屬ノ十二指腸蟲ハ印度ニ於テモ流行シ労働者トシテ入込ミタル印度ノ工夫ニ依リジャマイカ、トリダニツド及英領ギヤナニ傳播セリ、熱帶及亞熱帶地ニ於テハ本病カ新舊二種ノ何レニテモ惹起スルコトヲ熟知スルモ兩者ハ熟練ナル動物學者以外ノ人ニハ同一ノ觀ヲ呈ス、而テ疾病ノ症狀治療及豫防策ハ何レモ相同シ

#### 十二指腸蟲ノ生活及動作

成蟲ハ長サ約三分ノ一吋縫絲第三十號ノ大サヲ有スル小ナル圓柱狀ノ寄生蟲ナリ、十二指腸蟲ハ人及多數ノ動物例ヘハ犬狐牡牛等ニ感染ス、然レトモ人ニ感染スル特種ノモノハ動物ニ發見セラル、コトナク又下等動物ノ十二指腸蟲カ人ニ發見セラル、コトナシ、只茲ニハ人ニ感染スル種類ノミニ就キ論スヘシ

十二指腸蟲ノ生活ハ二期ヨリ成ル第一期ハ其形么微ニシテ糞便中ニ生活ス、即十二指腸蟲患者ノ糞ト共ニ排泄シタル微細ナル蟲卵ハ糞テ孵化シテ仔蟲トナル、蟲卵及仔蟲ハ何レモ肉眼ニテ認ムルコト能ハス仔蟲ハ溫度ト濕氣ノ適當ナル要需ノ下ニ於テハ恐ラク十ヶ月若クハ十二ヶ月間生活シ得ヘシ、然レトモ仔蟲ノ人體中ニ侵入シ腸官中殊ニ小腸ノ上部ニ達スルニアラサレハ此點以上發育スルコト能ハス、太陽ノ乾熱及冬ノ結氷ヲ見ルカ如キ天候ニ於テハ蟲卵ノ發育及仔蟲ノ生活ヲ害ス、此理由ニ依リ本病ハ沙漠或ハ長時日寒冷ナル土地ニ於テハ稀ナリ、日蔭ヲ有スル鬆粗ナル砂多キ粘土ハ仔蟲ノ最モ愛好スル所ナリ、強キ粘土ノ地ハ仔蟲ニ對シテハ概シテ不適當ナレトモ吾人ハ屢カ、ル土地ニ於テモ其生育ヲ遂ケ生活ノ第二期ニ進ミ重キ傳染ヲ來セルヲ見タリ

十二指腸蟲ノ生活ノ第二期ハ人體ニ於テ經過ス然レトモ其大多數ハ此程度マテ發育セス、即蟲卵ノ多數ハ決シテ孵化スルコトナシ、今或地方ニ於テ住民ノ九十%カ本病ニ罹レルモノトシ、各自カ糞便ト共ニ日々百萬乃至四百萬ノ蟲卵ヲ地上ニ排出スルモノト想像スルトキハ、糞便カ適當ニ處置サレサル土地ニ於テハ傳染ヲ免ル、モノ一人モナキコトヲ推測シ得ヘシ、之レニ由テ考ルモ糞便ヨリ生スル微小ナル有害物カ如何

ニシテ吾人ノ小腸内ニ達スルカヲ知ルハ最モ必要ナル事項ナリ、此侵入ノ徑路ハ簡短ナル場合モアレト通常ハ長キモノナリ今其簡單ナル徑路ヲ舉ケンニ、本病ニ感染ノ疑ナキ人カ其攝取セル食物ニ幼蟲ノ附着セル場合はレナリ、即仔蟲ハ汚染シタル手ニ依リ傳染ス、尙ホ屢認ムルハ人糞ニ依リ汚染セラレタル土地ニ生長シ若クハ地上ニ置レタル生ノ食物例ヘハ莓、李、「オランダミツバ」等ト共ニ仔蟲ヲ攝取スル場合ナリトス、斯ノ如ク經口ノ感染ノ方法モアレト最モ多數ノモノハ眞ニ興味アル徑路ニ依リ皮膚ヲ通シ感染ス、要スルニコノモノカ普通ノ感染徑路ナリ、仔蟲ハ孵化後一週内ニ二回ノ脱皮ヲナシ被囊ニ由リ防護サレ抵抗力甚強シ、此期ニ於テ仔蟲ハ著シキ活動力ヲ有シ、二三分ノ間ニ皮膚ヲ穿テ微細ナル血管ニ侵入シ、血流ニ由リ長キ行程ヲ經テ心臟及肺臟ニ達ス、肺臟ニ於テハ血管ノ微細ニシテ仔蟲ノ通過ヲ妨クルトキハ再ヒ穿孔ヲ初メ速ニ氣管支ニ達シ、徐行シテ氣管ニ出テ遂ニ咽頭ニ達シ唾液若クハ食物ト共ニ嚥下サル、斯クノ如ク長キ徑路ヲ以テ腸中ニ達シ腸壁ニ咬着シ血液ヲ吸取ス

世人ハ仔蟲カ皮膚及肺ノ血管ヲ穿孔スルハ極メテ難事ナルカ如ク思考スルナランモ尙ホ克ク之レヲナス之レハ容易ニ試験ニ依リ證明スルヲ得ヘシ、仔蟲ヲ有スル土壤ヲ濕シ之レヲ皮膚ニ貼付スレハ仔蟲カ侵入シタル局部ノ皮膚ハ痲衝ヲ呈シ發疹ヲ生ス、之レ即チ跣足ノ小兒ニ屢目撃スル「カブレ」(Ground-itch)ト稱ヘラル、モノナリ、尙ホ汚染シタル土壤ノ貼付前ニ於テ感染シアラサルヲ證明セラレシモノニアリテモ八週ノ終リニ試ミニ治療ヲ施ストキハ腸中ニ十二指腸蟲ノ母蟲ヲ藏スルコトヲ知ルヲ得ヘシ、故ニ假令皮膚

ハ速ニ治愈スルモ一旦「カブレ」ヲ生シタルモノニアリテハ仔蟲ハ身體ニ侵入シ血液及活動力ヲ奪ヒツ、アルコトヲ忘ル、ヘカラス

六二〇

生活ノ第二期ハ仔蟲ノ腸管ニ侵入スルニ初マル、即雌雄ノ蟲カ更ニ脱皮ヲナシ通常五乃至八週ヲ要シテ成蟲トナル、成蟲ハ通常肉眼ニテ認ムルコトヲ得、此狀態ニ於テ腸管壁ニ固着シテ多年生活シ次ニ述フルカ如キ害毒ヲナス、其他雌蟲ハ數千ノ卵ヲ産出シ糞便ト共ニ地上ニ達シ疾病ヲ傳播ス、今コノ寄生蟲ノ生活順序ニ依リ本病カ腸管ノ成蟲ニ基クモノナルコトヲ理解シ得ヘシ

#### 十二指腸蟲病ノ症候

同時ニ數百ノ十二指腸蟲ガ吾人ノ腸中ニ生活シ六乃至十年間生活シ得ルモノトシ、其間血液ヲ吸取シ腸ヲ傷ケ身體ヲ毒スルモノト考フル時ハ疾病トナルハ毫モ怪ムニ足ラサルヘシ、血液ハ肺中ニ於テ酸素ヲ集メ榮養分ヲ腸ニ仰キ之ヲ全身ニ分配スルノ要ヲナス、本病ニ於テハ多量ノ血液ヲ失フ其一部ハ十二指腸蟲ノ蟲體ニ吸取セラル、モ大部分ハ此蟲ノ爲生シタル小ナル損傷部ヨリ出血ニ依リ失ハル、モノナリ、重症ニアリテハ其血液ハ正常ノ四乃至六分ノ一ニ減シ、生理的ノ色澤ハ蒼白トナリ、顔面ハ菜色口唇ハ青色、皮膚ハ蒼白黄色ヲ呈シ、眼ハ懶ケニ見エ瞳孔ハ散大シ光線ノ反應遲鈍トナル、毛髮ハ乾燥シテ稀薄トナリ殊ニ腋下ニ於テ然リ、顔面及足踝ハ屢浮腫シ又足部ニ貧血性潰瘍ヲ見ル、腸部ハ膨出シテ所謂大鼓腸ヲ呈シ、胸廓ハ扁平トナリ肩胛骨ハ翼狀ニ突出スルニ至ル、此疾病カ特ニ發育期ニ起ル時ハ其發達ハ著ク障害サレ十八

歳ノモノモ、普通ノ十三四歳以上ノ發育ヲ營ム能ハス、食思ハ屢變調ヲ來シ、食物以外ノ特異ノ嗜好ヲナスニ至ル、例ヘハ土食症ト稱スルモノニアリテハ好シテ土ヲ食ス、其他珈琲ノ滓若クハ食鹽ヲ望モノアリ腸壁ハ十二指腸蟲ニ依リ著ク損傷サレ胃窩部ヲ壓迫スレバ過敏ナリ、十二指腸蟲カ腸壁ヲ咬傷スルトキハ、粘膜ノ剝離面生ス、此部分ハ、結核菌若クハ腸チブス菌等ノ侵入ヲ容易ナラシメ爲ニ本病ヨリ一層重篤ニシテ死亡數多キ疾病ヲ惹起スルコトアリ、其他強度ノ頭痛、眩暈、不眠ヲ來ス、心臟ハ辛クシテ減少セル血液ニ依リ榮養分ヲ給スルモ尙ホ肺ヨリ酸素、腸ヨリ榮養分ヲ補充シ以テ身體ヲ保ツニ必要ナル作業ヲナスヲ要スルヲ以テ本病カ屢心臟疾患若クハ武雷篤氏病ト誤診セラル、迄ノ心臟作用ハ異常ノ亢進ヲ呈ス、此等ノ患者ノ大多數ハ十二指腸蟲ノ驅除ヲ行フトキハ快癒シ得ヘシ、然レトモ感染者カスヘテ以上ノ症狀ヲ表ハスト推斷スヘカラス、其症候カ殆ント疾病ト思ハレサル程度ニ輕キモノアリ、中等症ニテハ以上ノ症狀中一或ハ以上表ハルヘキモ要ハ糞便ノ鏡檢ニ依リ蟲卵ヲ見出シ本病ヲ決定スルニアリ、本病ハ假令輕症ナルモノニアリテモ二様ノ損害アリ、第一ハ患者ハ其發育ヲ阻害セラル、之レハ學生ニ於テ屢見ル處ニシテ假令輕症ニテモ發育不良ニテ學業ハ退歩シ且容易ニ他ノ疾病ニ罹リヤスシ、第二ハ輕ク感染セルモノニアリテモ均シク十二指腸蟲卵ノ分配者若クハ傳播者ニシテ自身及他人ニ一層重キ傳染ヲ起サシメ得ルヲ常トス

#### 十二指腸蟲ノ蔓延ノ方法如何

六二一



十二指腸蟲ノ雌蟲ハ各毎日數百或ハ千二百乃至千五百個ノ蟲卵ヲ產出スルモ蟲卵ハ腸ニ於テハ決シテ孵化スルコトナク適當ナル溫度ト濕度ヲ有スル地上ニ達シタル後仔蟲ニ孵化ス、蟲卵ト仔蟲ハ肉眼ニテ認ムルコト能ハス、仔蟲ハ食物ト共ニ嚙下セラル、カ又ハ皮膚殊ニ足部ノ皮膚ニ侵入シ「カブレ」ヲ生シ身體ヲ通リテ腸ニ達スルニアラサレハ微細ニシテ之レヲ認ムルコト能ハス

本病ハ患者カ各所ニ移動スルタメ蔓延ス、印度ノ奴隸カ亞弗利加ノ西海岸ヨリ亞米利加ニ本病ヲ輸入シタルコトハ想像シ得ル處ナルカ同様ニ本病ハ或ル團體ヨリ他ノ團體ニ傳播ス

今茲ニ毫モ傳染病ナキAナル學校地方アリトシ其住民ハ健康ナリト假定シ、此團體ヨリジョンノ子女カ住民ノ七五%カ十二指腸蟲ヲ有シ土壤ハ仔蟲ニ富ミ土地ノ汚染甚シキBナル遠キ團體ノスミスヲ訪問シタリト假定セヨ

スミス及ジョンノ家族ハ何レモ便所ノ使用ヲ怠ルモノト推定シテ可ナリ(兩家族共便所ノ設ケアルヤ甚疑ハシ)即チロツクフエラー衛生委員ノ調査ニ依レハ、南部諸州ニ於ケル十八萬九千五百八十六戸餘ノ農家中九萬五千九百八十八戸ハ便所ヲ有セス、而テ八萬七千五百五十六戸ハ土地ニ汚物ノ容易ニ擴カリ得ルカ如キ共用便所ヲ有ス

氣候溫暖ナランカジョンノ子女ハ跣足ニテ歩行シ「カブレ」ヲ生シ或ハ地上ニアリシヲ食シタリトスレハ彼等ハ歸宅後其土地ヲ汚染スルニ至ラン、斯シテジョンノ家族ハ本病ヲ感染シ夏ノ終リニハ甚孱弱者白

トナル

A地方ノ學校ノ授業始マリジョンノ子女ハ通常ノ健康ニアラサルモ登校ス、學校ニハ便利ナル器具ノ設備アルモ便所ヲ有セス、之レ便所ノ必要ヲ感セサルカタメナリ、今便意ヲ催ストキハ男生ハ東ノ森ニ、女子ハ西ノ森ニ走ル

ジョンノ子女ハ、自己ノ病氣及森ヲ便所トシテ用フレハ疾病ヲ蔓延セシムルコトヲ知ラス、斯クノ如ク本病ノ知識ナキト且當然學校カ教ユヘキ衛生ノ不注意ノタメ附近ノ土地ハ著シク汚染セラレ、學校ハ各家族間ニ疾病ヲ傳播セシムル中心點トナリ、速ニ團體ハ十二指腸蟲病ヲ有スルニ至ルヘシ、時トシテ學校生徒全部本病ニ感染スルコトアリ、斯クノ如キ方法ニヨリ住民ハ本病ニ冒サレ怠惰貧困トナル、何人モ如何ニシテ此地ノ不景氣ヲ來セシカラ知ルモノナシ、若シ此地方ノ總テノ人民カ衛生便所ヲ使用シタランニハ本病ハ獨リジョンノ子女ニノミ限局サレ且ツ其病症モ輕カリシナラン、十二指腸蟲卵カ衛生便所ニ集メラルレハ、蟲卵ハ決シテ土地ニ達スルコトナク從テ仔蟲トナリテ害ヲナスカ如キコトナシ

### 診 斷

十二指腸蟲ノ検査ニ二法アリ、若シ既述ノ臨床症候ノ疑ハシキモノアラハ、簡單ニシテ廉價ナル治療ヲ施ストキハ本病ノ原因タル寄生蟲ハ藥物ノ毒作用ヲ受ケ驅除セラルヘシ、其蟲ハ便中ニ之レヲ認ムルコトヲ得今粗綿布ノ一乃至二層ヲ通シテ糞便ヲ水洗スルトキハコノ寄生蟲ハ綿布上ニ殘留シ容易ニ検査シ且集ムル

コトヲ得ヘシ、第二ノ方法ハ通常行ハル、モノニテ近來南部十一州ニ於テハ無數ノ人民カ此方法ニ依リ検査サレタリ、即糞便ノ少許ヲ硝子板上ニ水ニテ薄ク擴ケ鏡下ニ置キ若シ形及大キサニ於テ特異ナル十二指腸蟲卵ヲ認ムルトキハ腸管内ニ成蟲ノ存在スルヲ示スモノナリ、茲ニ於テ初メテ驅除法ヲ行フヘシ、南部諸州ニ於テハ心アル人民ハ此方法ニテ検査ヲ求メ自己及公衆ヲシテ本病ヲ免カレシメントノ決心ヲ以テ極力其驅除ニ努メツ、アリ

#### 豫防法

本病ヲ免ル、ニ二途アリ一ハ其豫防ニシテ他ハ治療ナリ、只憾ラクハ吾人カ豫防策ヲ應用スルコトノ遅々タルヲ、之レハ必竟非常ニ多數ノ疾病存在スルト餘リニ治療ヲ信賴スルニ依ル、本病ノ豫防ハ甚簡單ニシテ最モ緊要ナルハ各人ノ糞便ヲ集メ蟲卵ノ發育セサル様處置スルニアリ、若シ此方法ヲ各患者ニ行ハ、十二指腸蟲ハ腸中ニ繁殖セサルヲ以テ二三年内ニ老朽ノタメ死シ本病ハ終熄スヘシ  
此方法ノ完成ヲ見ルニ至ル迄ハ本病ノ多數ハ靴ヲ用ヒテ豫防シ得ヘシ跣足ノ小兒ハ、十二指腸蟲ノ大ナル採集者ナリ、然レトモ有効ナル豫防ハ土地ノ清潔ヲ計ルニアリ、即衛生便所ヲ設ケ規則的ニ總テノ人民ニ之レヲ使用セシムレハ安全ニシテ假令患者カ治療ヲ拒ムコトアルモ此地方ハ兩三年内ニ本病ノ跡ヲ絶ツニ至ラン

學校附近及農場家屋構内ノ土地ノ汚染ハ努メテ之ヲ防クヘシ、降雨、及豚、鶏等ニ依リ便所ノ内容ヲ地上ニ

擴ケ、若クハ蠅ニ依リ屋内ニ輸入シ得ルカ如キ毀ハレ易キ粗末ナル便所ハ全廢シ之レニ代フルニ衛生便所ヲ以テスヘシ、其便所ノ要件トスルハ水ノ浸透セサルコト、蠅ヲ防ク受器アルコト、及汚物ニ對シ或ハ之レヲ燒却シ、又ハ酸酵セシメ若クハ給水ト距リタル地下ニ埋メル等ノ衛生的處置ヲナシ得ルヲ要ス、人糞ハ適當ナル監督ノ下ニ充分ナル處置ヲナスニアラサレハ肥料トシテ用フヘカラス、カクセサルトキハ、十二指腸蟲ヲ野菜果物等ニ附着セシムルノ虞アリ、普通ノ農家等ニ少額ノ費用ニテ容易ニ設ケ得ヘキ便所ハ堅牢緻密ナル桶、適合スル扉、防蠅ノタメ針金ノ網ヲ張レル窓ヲ有シ多數ノ團體ハ既ニカ、ル便所ヲ設ケツ、アリ、而テ尙ホ南部ノ學校ノ庭ニ十二指腸蟲、腸チブス等ノ豫防ノタメ之レカ設置ヲ獎勵シツ、アリ

サレト理想ニ過キタル便所ノ設計ハ贅澤ニ流ル、カ然ラサルモ實行シ難キ場合多シ故ニ理想ノ見地ヨリ考フレハ強チ危険ナシトハ斷言シ難キモ少クトモ實用向ノ設備ヲ試ミントスルノ傾向アリ、吾人ハカノ汽車自働車及昇降機ハ或ル程度迄ハ危険アルヲ知ルト雖モ何人モカ、ル危険性カ絶對ニ除去セラル、ニアラサレハ、文明利器ノ使用ヲ避ケンコトヲ主張スル愚ハ學ハサルヘシ此原則ニ基キ衛生家ハ少額ノ費用ニテ設ケ得ヘキ次ノ便所ヲ獎勵シツ、アリ

第一、地面ニ穴ヲ掘ル第二、底ニ孔アル箱ヲ倒ニシ穴ノ上ニ置キ其下端ハ土ヲ以テ圍繞ス第三、箱ノ孔ハ必要ナキトキハ覆蓋ヲ以テ之レヲ掩フ第四、箱ハ時々他ニ移轉セシメ孔ハ土ニテ填充ス、此便所ハ叢林ニ

設クルカ、尙ホ餘裕アレハ墻塀ノ内ニ設クカ、ル實用向キノ装置ニ由リ危険ノ淵源タル、十二指腸蟲ヲ絶滅シ得ヘク併セテ蠅ノ媒介ニ由ル「チフス」ノ傳播ヲ妨ケ得ヘシ、若シ便所ノ位置カ、泉、井戸ヨリ適當ノ距離ニ在リテ地質カ主ニ石灰石ヨリ成レル土地以外ナレハ汚染ノ危険ニ就テハ介意スルニ足ラス

治療法

十二指腸蟲ハ通常瀉利鹽ト粉末「チモール」ヲ膠囊ニ入レタルモノヲ以テ驅除ス瀉利鹽ノ目的ハ蟲體ヲ圍繞シ且「チモール」ノ作用ヲ妨タル粘液若クハ他ノ物質ヲ除カンカ爲メナリ、「チモール」投與ノ前晚ノ夕飯ハ食セサルカ若クハ僅ニ取り成ルヘク早ク瀉利鹽ヲ一回分用フヘシ、此下劑カ奏効スルヲ待テ翌朝「チモール」ノ全量ノ半分ヲ服用シ其後二時間ヲ經テ残りノ半分ヲ用ヒ二時間ヲ經テ瀉利鹽ヲ投ス之レ「チモール」ニ由リ腸壁ノ保持ヲ緩メタル十二指腸蟲ヲ排除センカタメナリ、「チモール」ヲ用ヒタル日ニハ瀉利鹽ノ全量カ悉ク作用スル迄ハ決シテ食事ヲナスヘカラス、但シ少量ノ水、牛乳ヲ混セサル強キ珈琲ハ許シテ可ナリ、「アルコール」ト油ハ、「チモール」ヲ溶解シ強ク患者ヲ害スルヲ以テ時トシテ非常ニ危険ナルコトアリ、肉汁、牛酪、牛乳凡テ「アルコール」性飲料及「アルコール」ヲ含有スル賣藥ハ治療ノ前晚ト當日ニハ嚴禁スヘシ、尙ホ多數ノ十二指腸蟲ハ容易ニ空虚トナラサル胃擴張ヲ有スル故ニ「チモール」ヲシテ速ニ小腸ニ達セシムルコト肝要ナリ、故ニ患者ハ「チモール」服用後少クトモ三十分乃至一時間ハ右側ニ臥スルヲ可トス

チモールノ用量

年齢	氏	瓦	午前六時	午前八時
1-5	7.5	.5	1/2量	1/2量
5-10	15.	1.	1/2量	1/2量
10-15	30.	2.	1/2量	1/2量
15-20	45.	3.	1/2量	1/2量
20-60	60.	4.	1/2量	1/2量
60-以上	45.	3.	1/2量	1/2量

「チモール」ノ量ハ年齢ニ依リ差アリ本病ハ發育ノ障害アリテ、十八歳ノモノモ普通ノ十三歳位ニ相當スル故ニ、眞ノ年齢ニテ用量ヲ定メ難シ、技倆アル醫師ハ須ラク治療ヲ監察スヘシ、「チモール」ハ之レヲ粉末トナシ膠囊ニ容レ與フルモノナルカ若シ毎粒乳糖ヲ附加スレハ一層克ク奏効ス、患者ノ大多數ハ二回ノ治療ニテ十二指腸蟲ヲ驅除スルコトヲ得

ポルトリコニテ治療シタル三千六百三十人ノ中千五百十八人ハ第一回ノ治療ニテ治癒シ、千百六十六人ハ第二回、五百十八人ハ三回、二百四十七人ハ四回、百四人ハ五回、四十七人ハ六回、最モ遅キモノハ十一回ノ治療ニテ十二指腸蟲ヲ驅除スルコトヲ得タリ、「チモール」ニヨリ死セサル蟲モ多少病氣トナルヲ以テ殆ント二週間蟲卵ヲ排出スルコトナシ、治療後二週若クハ其以後ニナシタル鏡檢ニ依リ、十二指腸蟲カ驅除

セラレ從テ治療ノ完成シタルコトヲ知ルヲ得ヘシ、而シテ治療毎ニ排泄シタル糞便ハ前ニ述ヘタル方法ニテ検査ヲナシ、既ニ十二指腸蟲ヲ發見セサルニ至ラハ至急汚物ハ適當ニ處置スヘシ

十二指腸蟲問答

問、十二指腸蟲ハ如何ナルモノカ

答、人體ノ小腸中ニ生活スル長サ約半「インチ」ノ小サキ白色ノ蟲ナリ

問、十二指腸蟲ノ害如何

答、十二指腸蟲病ヲ起シ其侵襲ヲ蒙レル人ハ蒼白虛弱トナリ小兒ノ發育ハ妨ケラレ學業ハ退歩ス

問、多クノ人民カ此蟲ヲ有スルカ

答、南部諸州ニ於テ非常ニ蔓延シ貧乏トナル屢大ナル家族カスヘテ本病ニ惱ムコトアリ且屢學校生徒ノ本病ニ感染セルコトアリ

問、如何ニシテ本病ニ感染スルカ

答、時トシテハ新タニ孵化シタル蟲ノ附着セル生ノ食物ヲ食スルニ由リ感染スルコトアレトモ概ネ汚染セル土地ヲ素足ニテ歩行シ「カブレ」ヲ生スルヲ常トス

問、如何ニシテ十二指腸蟲カ土地若クハ食物中ニ侵入スルカ

答、充分成熟シタル蟲ハ人ノ腸内ニ於テノミ産卵ス、卵ハ糞便ト共ニ排泄セラレタル後孵化ス、若シ孵化

シタルモノカ地面ニ達スルトキハ肉眼ニテ認ムル能ハサル程微細ナルヲ以テコレニ觸レシ人ノ皮膚ニ侵入シ腸ニ達シ漸次發育シテ産卵ス尙ホ此等ハ不潔ナル土地ノ野菜、果物等ニ附着シ之レヲ嚙下スレハ腸ニ達ス

問、十二指腸蟲ハ腸内ニ於テ繁殖スルカ

答、否、腸内ニ於ケル各ノ蟲ハ皆嚙下セラレシカ若クハ皮膚ヲ通シテ來リシモノナリ

問、十二指腸蟲ハ土地ニ繁殖スルカ

答、否、地面ニ於ケル各仔蟲ハ腸ヨリ排出セラレタル卵ヨリ孵化ス而テ仔蟲ハ再ヒ人體ニ侵入スルニ非サレハ生長セスシテ死滅ス斯クノ如キ生育順序ヲ破ルトキハ十二指腸蟲病ハ撲滅スヘシ

問、生活順序ヲ破壊スルノ方法如何

答、土地ノ汚染ヲ防クコト、即第一衛生便所ヲ設クルコト、但シ便所ハ堅牢ニシテ地上ニ汚物ヲ播布セサルヲ要ス、第二跣足ヲ禁シ糞便ニテ汚染シタル濕地ニ接觸セサルコト、又果物、野菜ヲカ、ル土地ニ置キ若クハ育タシメサルコト

問、十二指腸蟲ハ治癒シ得ヘキカ

答、容易ニ治癒スレトモ本病ヲ豫防スルノ優レルニ如カス

問、豫防ハ容易ナルカ

答、然リ各學校及農家ノ庭ニ堅牢ナル便所ヲ要ス且南部諸州ニ多キ汚物ノ撒播ヲ禁スヘシ各人カカ、ル危  
險ナル習慣ヲ廢スルトキハ本病ヲ撲滅シ得ヘシ、若シ本病ヲ免レント思フモノハ住宅及學校ノ汚物カ  
衛生便所ニテ安全ニ處置シ得ルコトヲ知レ而シテ他人ニモ之レヲ推獎シ且靴ヲ穿テ汚染ノ疑アル土地  
ヨリ遠サカリ居ルヘシ

大正四年十月十日印刷

大正四年十月十三日發行

### 内務省衛生局

印刷者 小 川 邦 孝  
東京市京橋區瀧山町七番地

印刷所 東京製本合資會社  
東京市京橋區瀧山町七番地

電話新橋 七七七  
九九九  
七六五

1-257

内務省圖書

大正四年...

...

Faint text block, possibly a list or index, containing several lines of small characters.

終